WorkCentre™ 100
取扱説明書

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
4. 本書に記載されていない方法で本機を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
5. 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
   また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

はじめに

このたびはWorkCentre™100をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書には、本機の設置のしかた、操作方法、および注意事項を記載しています。製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、ご使用になる前には本書を必ずお読みください。

富士ゼロックス株式会社

この取扱説明書のなかで ⚠ と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機器は社団法人日本事務機器工業会が定めた複写機および類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

こんなことができます

節約したい

コピーにかかるコストを節約したいときには、次のような方法があります。

◆ 電気代を節約する

コピーにかかる電気代を節約する機能には、次の二つがあります。

- パワーセーブモード ☞ 24ページ
  本機の未使用状態が設定時間まで続くと、自動的にパワーセーブモードになり、消費電力が40Wまで下がります。設定範囲は、45秒、90秒、2分、5分です。
- パワーシャットオフモード ☞ 26ページ
  本機の未使用状態が設定時間まで続くと、自動的にパワーシャットオフモードになり、消費電力が18Wまで下がります。設定範囲は、2、5、30、60、120分です。

◆ トナーを節約する ☞ 18ページ

トナー節約モードでコピーすると、トナーの消費量が約10%下がります。

◆ 両面にコピーして用紙を節約する ☞ 22ページ

手差しトレイを使うと、用紙の両面にコピーできます。

いろいろな用紙にコピーしたい

通常の用紙以外にも、次のようなものにコピーできます。

◆ はがき ☞ 20ページ

あて名などをはがきにコピーできます。

◆ OHPフィルム ☞ 20ページ

表やグラフなどを、OHPフィルムにコピーできます。会議の資料づくりなどに便利です。

いろいろな原稿をコピーしたい

原稿カバーが取り外せるので、大きな原稿をコピーできます。☞ 16ページ

速くコピーしたい

次のような機能でスピーディーなコピー作業ができます。

◆ ウォーミングアップタイム0秒
電源スイッチを入れたらすぐにコピー予約ができます。

◆ A4用紙なら毎分10枚のコピーが可能

◆ 最大100枚の連続コピー

きれいにコピーしたい

きれいにコピーしたいときには、次のような方法があります。

◆ 画質を調整する ☞ 18ページ
写真モード、文字モードなど、原稿のタイプに合わせて画質を設定すると、より鮮明にコピーできます。

◆ 濃度を調整する ☞ 18ページ
濃度を5段階に調整できる手動モードを搭載しています。

◆ 倍率を調整する ☞ 19ページ
50〜200%まで、1%ごとに151段階の倍率が選択できます。

本書の使い方

本書の構成

本書の各章の内容は次のとおりです。

第1章　お使いになる前に

本機の各部の名称、設置場所、取り扱い上の注意など、本機を設置する前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

第2章　設置のしかた

同梱品を確認してから、電源を入れるまでの設置手順について説明しています。

第3章　コピーする

基本的なコピーのとり方をはじめ、縮小/拡大コピー、両面コピー、手差しコピーなどいろいろなコピーのとり方と、コピーを中止する方法について説明しています。

第4章　いろいろな操作

本機の初期設定を変更する操作、ドラムカートリッジの交換時期を確認する操作、および総コピー枚数を確認する操作について説明しています。

第5章　消耗品の交換と日常のお手入れ

消耗品（トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ）の交換方法、本機を清掃および移動するときの手順について説明しています。

第6章　こまったときには

紙づまりなど、本機を使用中にトラブルが発生したときの対処方法について説明しています。

付録

用紙、消耗品、および本機の仕様について説明しています。

＊ **本書の他に、「クイックリファレンス」を同梱しています。本機の設置方法や紙づまりの処置をまとめて記載していますので、本書と併せてご活用ください。**

本書の表記

- 本書では次のような表記を使用して説明しています。

操作するときに注意することや、制約事項をまとめています。

関連する内容の情報、詳細、操作の補足などについて説明しています。

参照先を示しています。

操作パネルのディスプレイに表示される文字を示しています。

- 操作パネルのキーおよびランプを[ ]で表します。
例：[原稿の画質]キーを押し、[トナー節約]ランプを点灯させます。

安全にご利用いただくために

安全にご利用いただくために、本機をお使いになる前に必ず「安全にご利用いただくために」のページを最後までお読みください。

各図記号は以下のような意味を表しています

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物理的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

高温注意

発火注意

感電注意

指はさみ注意

⊘記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止とされている事項は絶対に行わないでください。

禁　止

火気禁止

分解禁止

接触禁止

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

指　示

電源プラグを抜け

アースを接続せよ

⚠警告

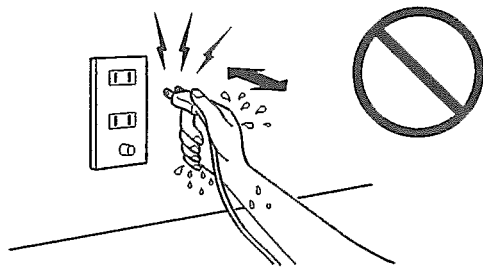
電源プラグは、定格電圧125Vで、定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線はしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。
なお、本機の定格電源は、100V、10Aとなっています。

電源プラグやコンセントに付着したホコりは、必ず取り除いてください。
そのまま使用していると、湿気などにより表面に微少電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。発熱による火災のおそれがあります。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っぱたり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電のおそれがあります。

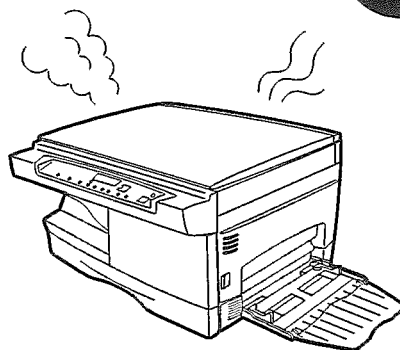
⚠警告

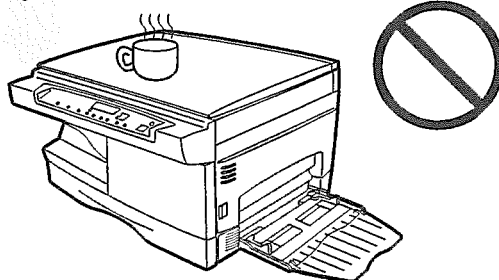
電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源コードとともに出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事 (第3種) を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。
- ガス管 (引火や爆発の危険があります。)
- 電話専用アース線および避雷針 (落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。)
- 水道管や蛇口 (配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

万一、異物（金属片、水、液体）が内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

次のようなときには直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると火災のおそれがあります。
- 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 機械の内部に水が入ったとき

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線)、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

機械の上に花瓶や、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。

機械の上に金属類を置かないでください。すき間から内部に、クリップやホチキスの針のような金属類や燃えやすいものが入り込むと、機械内部がショートし、火災や感電のおそれがあります。

⚠警告

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。
火災のおそれがあります。

トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。
粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

ドラムカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。
カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

⚠注意

機械の電源スイッチを入れたままコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

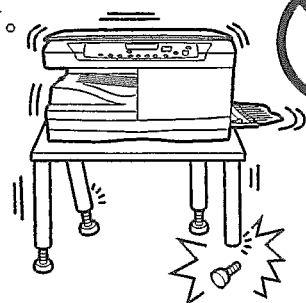
連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

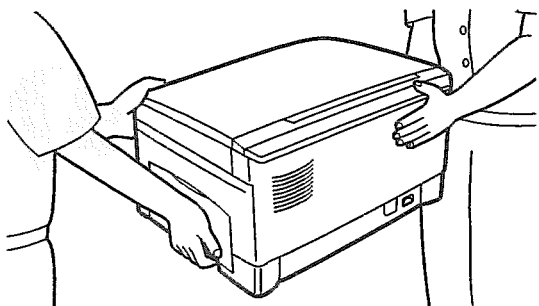
1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。
なお、異常がある場合は弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店までご連絡ください。

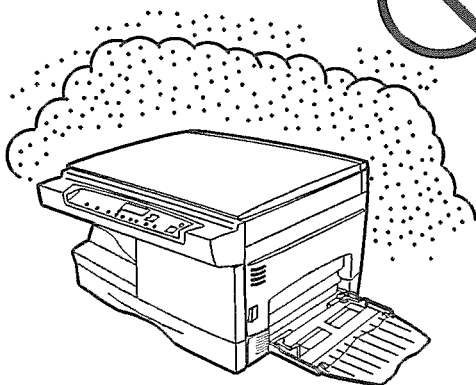
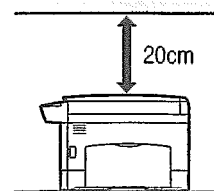
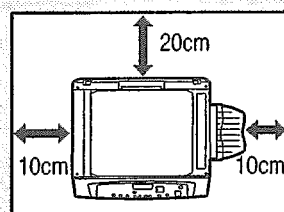
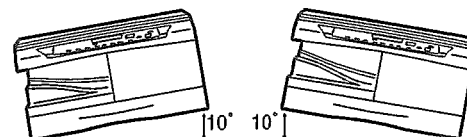
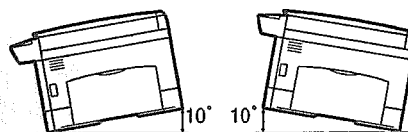
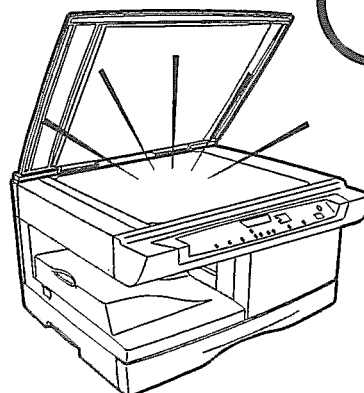
- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- 電源コードにき裂やすり傷などはありませんか。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には機械を設置しないでください。火災の原因となるおそれがあります。

機械は重さ18.6kgに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

⚠注意

機械の重さは18.6kg (トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ含む) です。必ず2人以上で持ち運んでください。

機械を持ち上げるときは、機械正面に向かって、左右両側の下方にある移動用取っ手をしっかりと持ってください。移動用取っ手以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。落下によるケガの原因となるおそれがあります。（下図の左手は軽く添えるだけにしてください。）

機械を持ち上げるときは、十分にひざを折り、腰を傷めないように注意してください。

高温、多湿及び換気が悪くホコリの多い場所には機械を移動しないでください。発熱による火災や感電の原因となることがあります。

機械の後部には通気口があります。機械は壁から20cm以上離して設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。
また、機械の操作および消耗品類の交換、日常の点検など、機械を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

機械を移動する場合は、機械を10度以上に傾けないでください。
転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

原稿カバーを開けたままコピーをとるとき、ランプ光を見つめないでください。
目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。

⚠注意

機械の近くまたは内部で強燃性スプレーや引火性溶剤を使用しないでください。引火による火災の原因となるおそれがあります。

厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。
コピーガラスが割れてケガをする原因となるおそれがあります。

機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源コードが傷つき、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があり、ケガの原因となるおそれがあります。

機械の上に重いものを載せないでください。機械のバランスが崩れて倒れたり、重いものが落下してケガの原因となるおそれがあります。

狭い部屋で長時間使用する場合は、部屋の換気に注意してください。
頭痛などの原因となるおそれがあります。

用紙トレイを引き出すときはゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

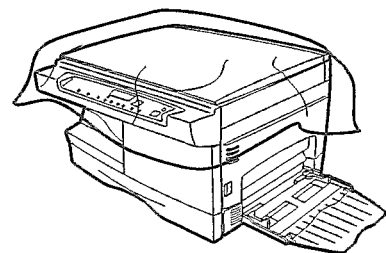
電気を通しやすい紙（折り紙・カーボン紙・コート紙など）は使用しないでください。紙づまりのときにショートして火災の原因となるおそれがあります。

「高圧注意」を促すラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。感電の原因となることがあります。

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（ヒーター部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。
なお、ヒーター部やローラーに部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

注意 ⚠ 高温部に手を触れないでください。やけどの原因になります。

つまった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないよう、すべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。
なお、紙片や用紙がヒーター部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店に連絡してください。

電源を入れたままダストカバーや布、ビニールシートなどのおおいをかぶせないでください。放熱が悪くなり、火災の原因となるおそれがあります。

その他

いつも良い状態でご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。
温度 10〜30℃　湿度 20〜85%（結露がないこと）

消耗品は、ご使用になるまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。

- 高温、低温、多湿の場所
- 火気のある場所
- 直射日光の当たる場所
- ホコリが多い場所

受信障害について
ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源プラグをいったん抜いてください。
電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は、電気店にご相談ください。)
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

コピー禁止事項

自分が使用するものであっても、何をコピーしてもよいとは限りません。法律によって、単にコピーを所有するだけでも罰せられるものもありますのでご注意ください。

法律で禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピーすることは禁止されています。
  (見本であってもコピーすることは禁止されています。)
- 政府の模造許可をとらない限り、未使用の郵便切手や、官製ハガキなどをコピーすることは禁止されています。
- 外国において流通している紙幣、貨幣、証券類をコピーすることは禁止されています。
- 政府発行の印紙、法令で規制されている証券類をコピーすることは禁止されています。

注意を要するもの

- 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)、定期券、回数券などは、事業会社が業務に使用するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も不必要なコピーをしないほうがよいと考えられます。

著作権の目的となっているもの

- 著作権の対象となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除き、作者に無断でコピーすることは禁止されています。

もくじ

4 いろいろな操作

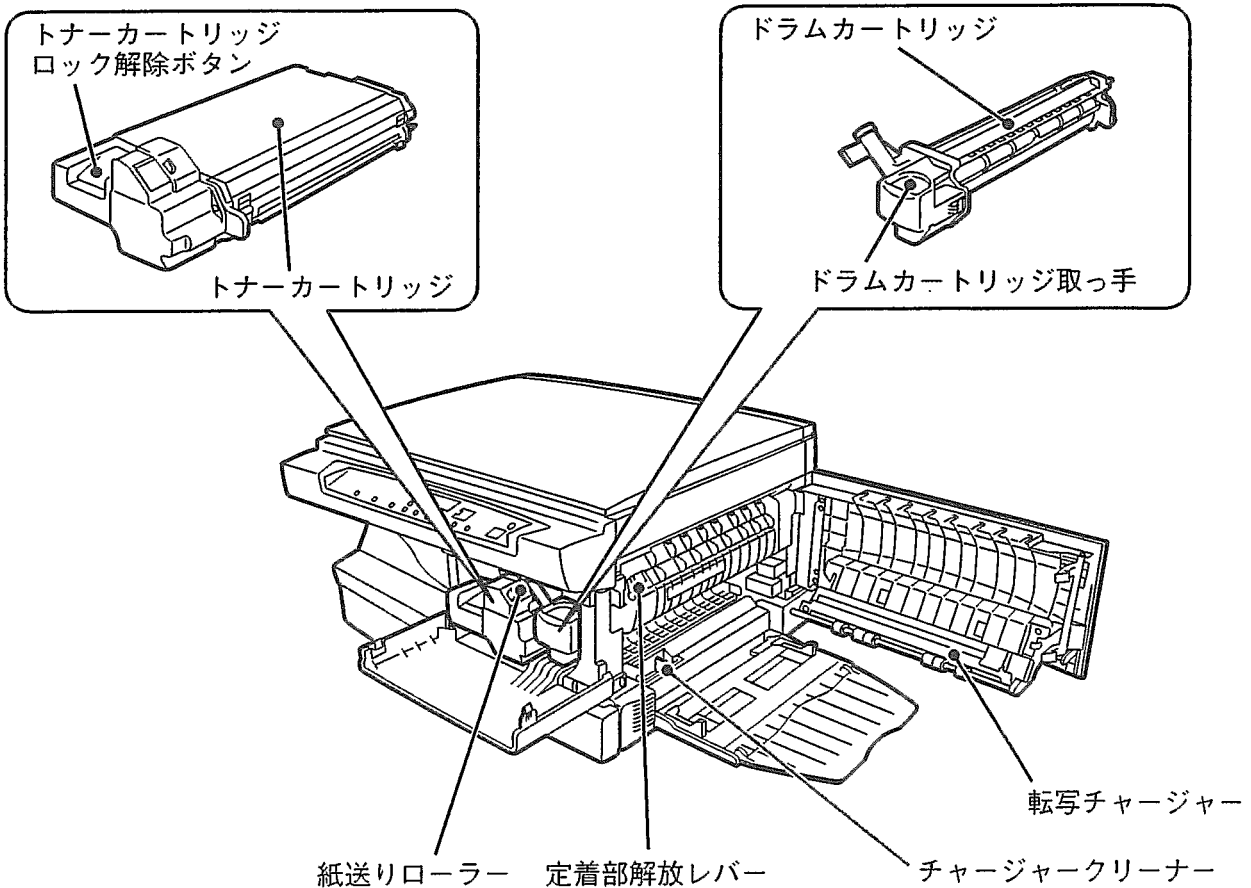
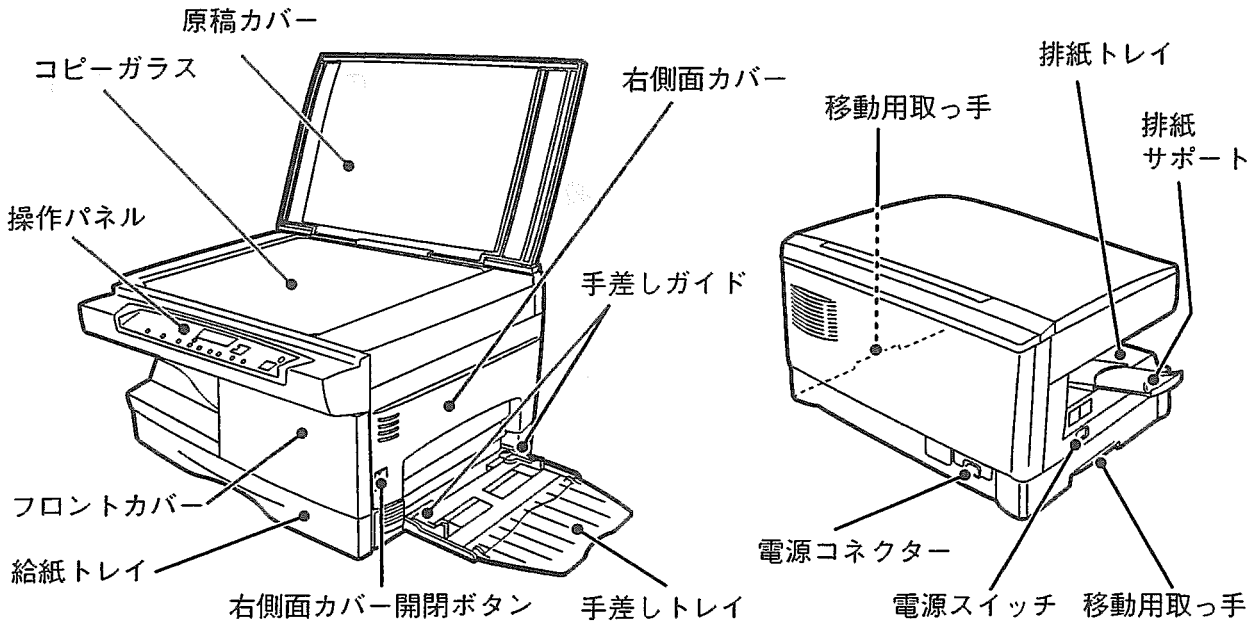
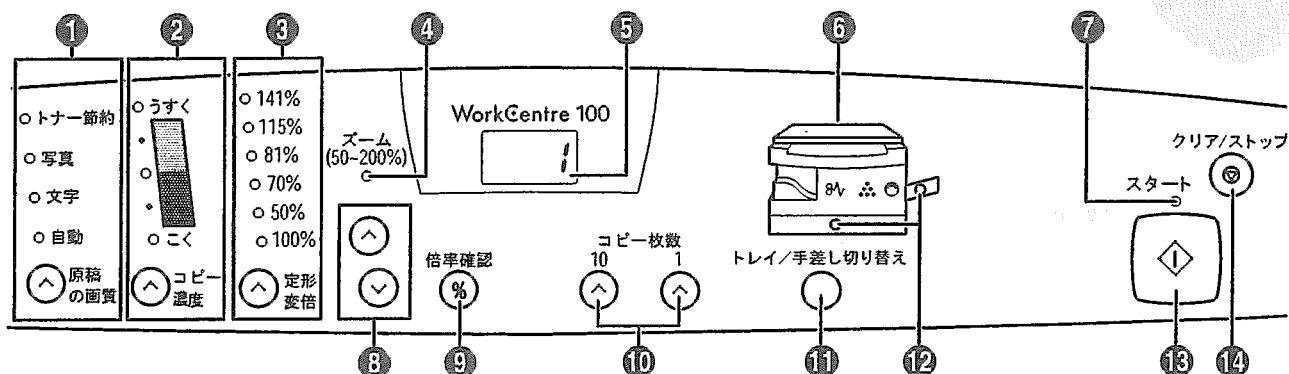
5 消耗品の交換と日常のお手入れ

6 こまったときには

付録

お使いになる前に

本機の各部のなまえ、操作パネル、設置場所、および取り扱い上の注意について説明します。

1.1　各部のなまえ

1.2 操作パネル

❶ [原稿の画質] キー／表示ランプ

- コピーする原稿の画質を選択します。
  設定したモードのランプが点灯します。
  ☞ 18ページ
  「自動」：コピーする原稿に合わせて、濃度が自動的に調整されます。
  「文字」：主に文字が多い原稿をコピーする場合に選択します。
  「写真」：写真をコピーする場合に選択します。
  「トナー節約」：トナーの消費量を約10%下げます。
- 初期設定を変更するときに使用します。
  ☞ 24ページ

❷ [コピー濃度] キー／表示ランプ

コピー濃度を5段階に調整します。[原稿の画質]が[文字]、[写真]、[トナー節約]のときに使用できます。
設定した濃度のランプが点灯します。
☞ 18ページ

❸ [定形変倍]キー／表示ランプ

固定倍率を選択します。
設定した固定倍率ランプが点灯します。
☞ 19ページ

❹ [ズーム]ランプ

[ズーム]キーで拡大・縮小倍率を設定すると点灯します。

❺ ディスプレイ

設定したコピー枚数、倍率、およびエラーコードが表示されます。

❻ 警告表示ランプ

8∿：紙づまりランプ
☞ 44、52ページ
∴：トナーカートリッジ交換ランプ
☞ 34、52ページ
◯：ドラムカートリッジ交換ランプ
☞ 36、52ページ

❼ [スタート]ランプ

- ランプが点灯：コピー可能状態です。
- ランプが点滅：パワーセーブモード、またはパワーシャットオフモードになっています。

❽ [ズーム]キー

50～200%の範囲で1%きざみに拡大・縮小倍率を設定します。☞ 19ページ
⌃キー： 倍率が1%づつ上がります。
⌄キー： 倍率が1%づつ下がります。

❾ [倍率確認]キー

キーを押している間、設定した倍率がディスプレイに表示されます。☞ 19ページ

❿ [コピー枚数]キー

コピー枚数を1～100枚まで設定できます。
訂正する場合は、[クリア／ストップ]キーを押します。☞ 15ページ
[1]キー： コピー枚数が1枚づつ増加します。
[10]キー：コピー枚数が10枚づつ増加します。

⓫ [トレイ / 手差し]切り替えキー

給紙方法(給紙トレイ/手差しトレイ)を設定します。

⓬ 給紙表示ランプ

設定した給紙方法(給紙トレイ／手差しトレイ)のランプが点灯します。

⓭ [スタート]キー

- コピーを開始します。
- 初期設定を変更するときに使用します。
  ☞ 24ページ

⓮ [クリア / ストップ]キー

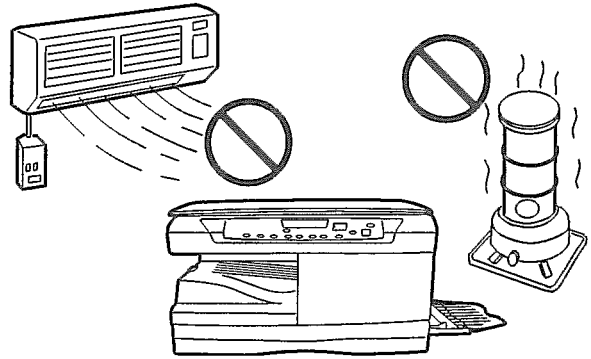
- 設定したコピー枚数や倍率を消去します。(2回続けて押すと、操作パネルで行った、すべての設定を消去できます。)
- 総コピー枚数を確認します。
  ☞ 33ページ

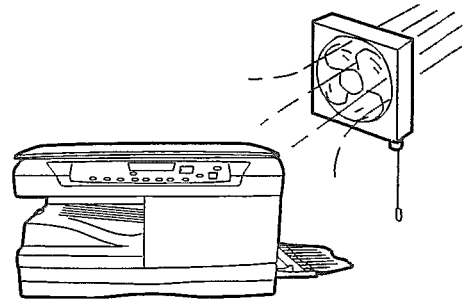
1.3　設置場所について

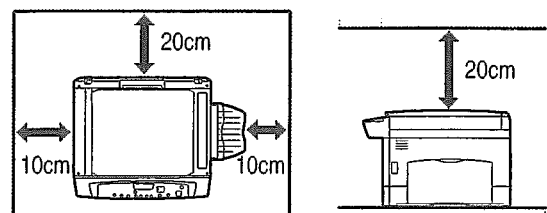
本機の性能は、設置場所の環境条件によって影響を受けます。
本機を快適にご利用いただくために、次のような場所には設置しないでください。

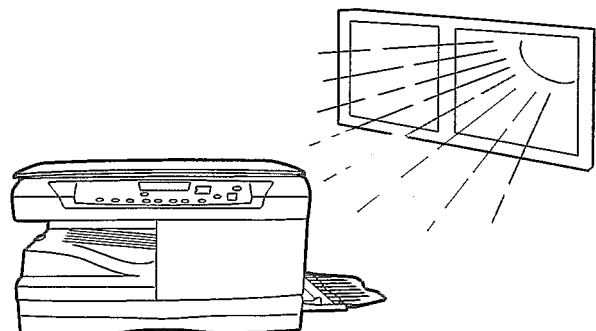
寒いところから急に暖かい所へ移動させた場合には内部のレンズやドラムに露が発生することがあります。このような状態でコピーすると、画像がぼやけたり写らなかったりすることがありますので、2時間以上室温になじませてからご使用ください。

高温、高湿、低温、低湿の場所（ストーブ、加湿器、クーラーなどの近く）

用紙が湿ったり、本機内部に露が発生し、紙づまりやコピー汚れの原因となります。
（使用環境：温度10～30℃、湿度20～85％）
なお、超音波式の加湿器には加湿器用純水器をご使用ください。水道水等を給水するとミネラル成分も噴出されるため、本機内部に汚れが付着し、コピー汚れの原因となります。

通気性の悪い場所

コピー中、本機内部でオゾンが発生します。その量は人体に悪影響をおよぼさないレベルですが、大量にコピーをとる場合には臭気が気になることがありますので、窓や換気扇のある部屋に設置し、ときどき換気してください。

壁に近い場所

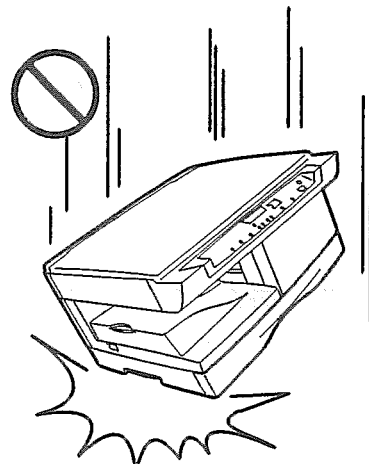
壁からの距離をあけて設置してください。通風や紙づまりの処置をする場合に必要です。

直射日光の当たる場所

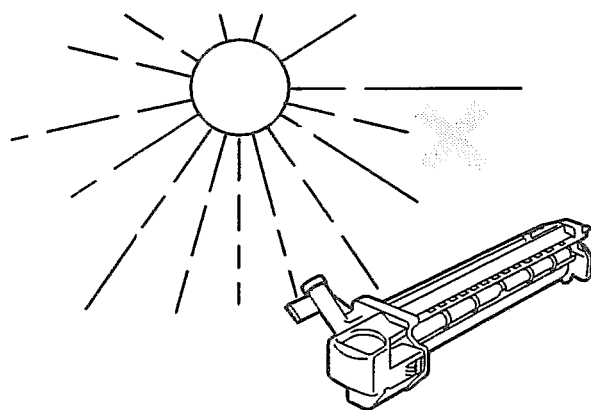
プラスチック部品が変形したり、コピー汚れの原因となります。

振動の多い場所

故障の原因となります。

1.4　取り扱いについて

本機の性能を維持するために取り扱いには次のことを注意してください。

落としたり、衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。

ドラムカートリッジを直接光に当てないでください。

ドラムカートリッジの表面（緑色の部分）がダメージを受け、印刷汚れの原因となります。

予備に購入したトナーカートリッジやドラムカートリッジは、交換時期がくるまで箱から取り出さないで暗い場所に保管してください。

直接日光を当てると、印刷汚れの原因となります。

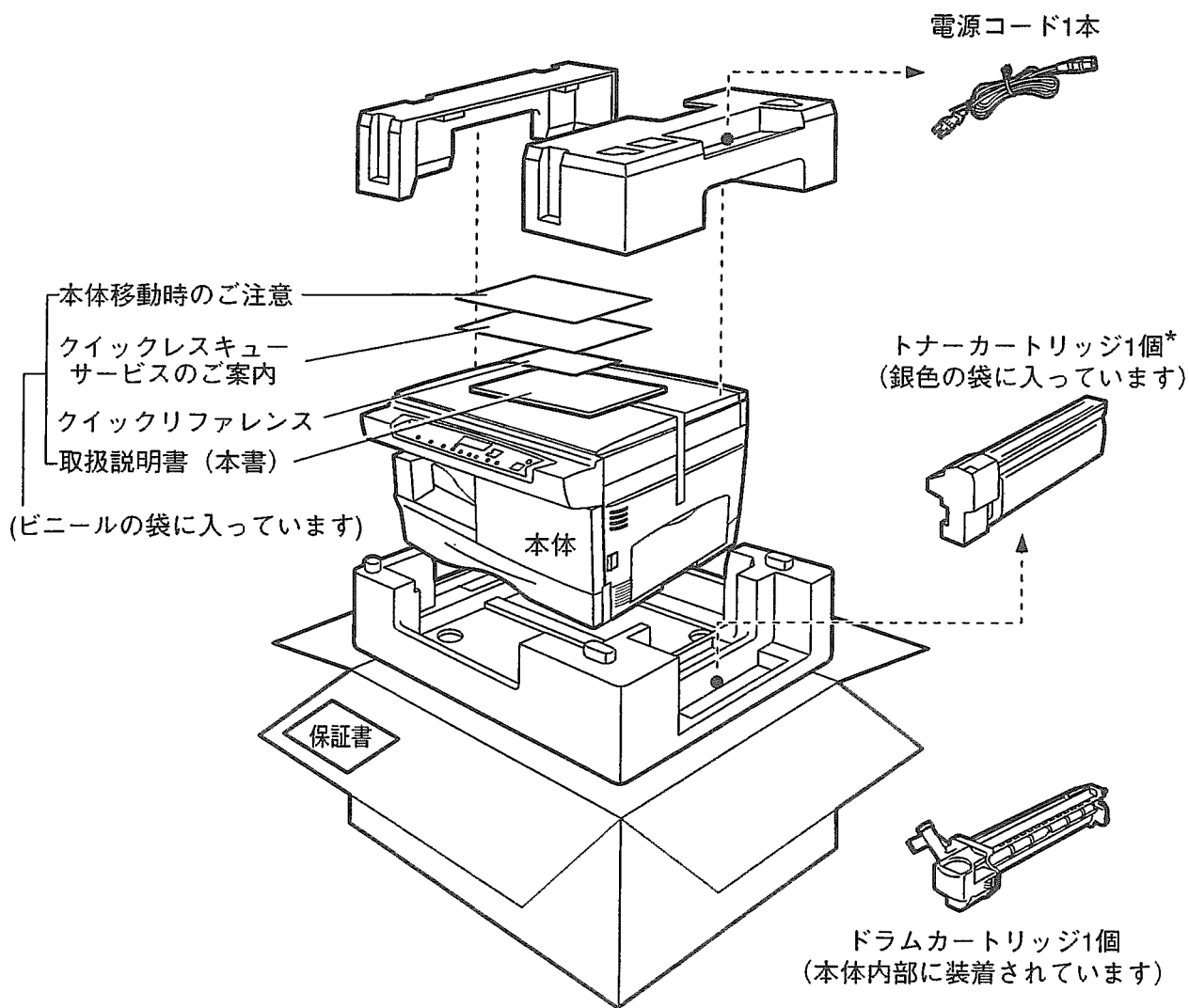
ドラムカートリッジの表面（緑色の部分）は直接手で触れないでください。

カートリッジの表面（緑色の部分）に傷がつき、印刷汚れの原因となります。

2 設置のしかた

本機を正しく使用するために、次の手順に従って設置してください。

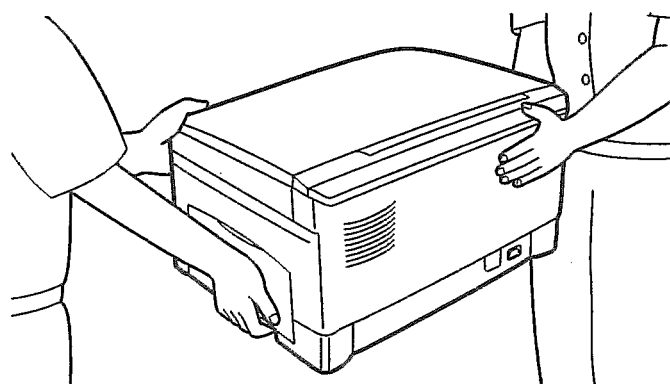
2.1 箱の中身を確かめる

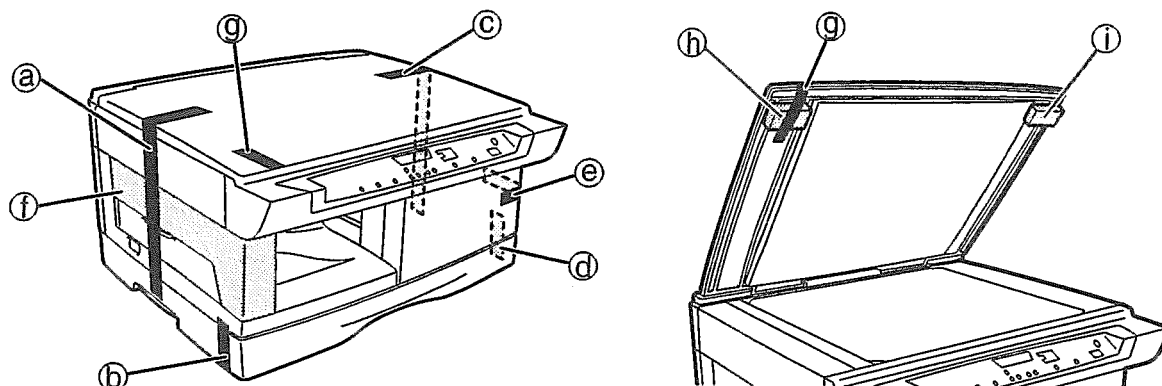
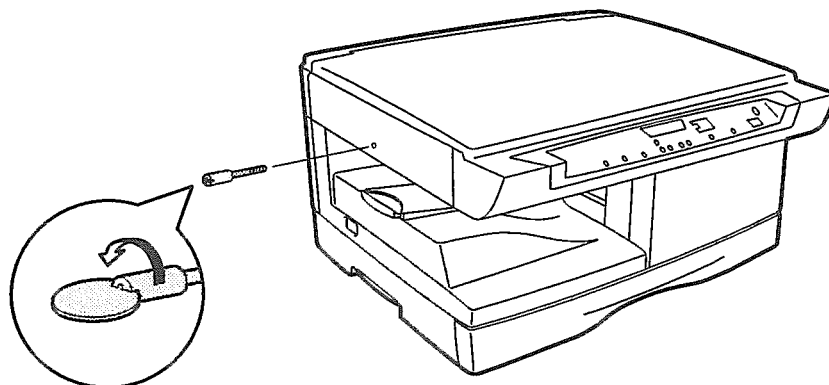
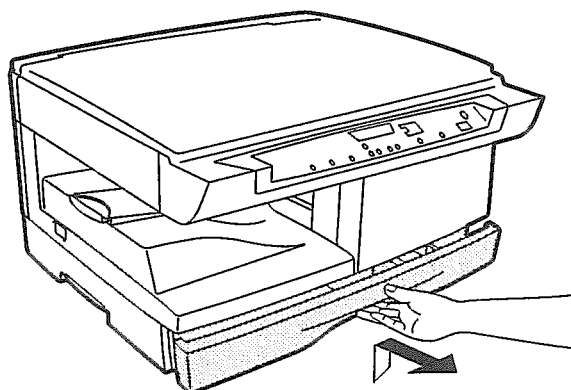
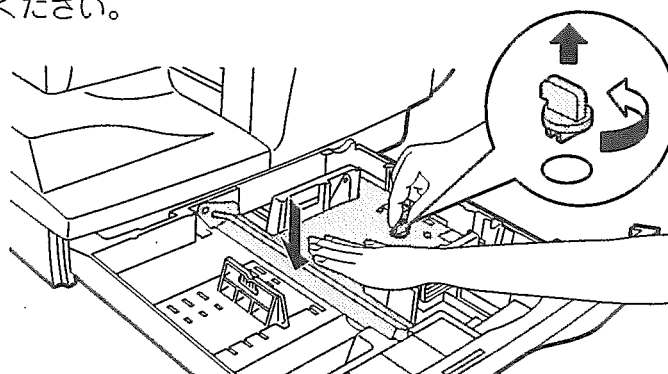
箱を開けて、以下のものがそろっていることをお確かめください。

* 同梱されているトナーカートリッジのトナーは、別売品のトナーカートリッジの量の1/3です。

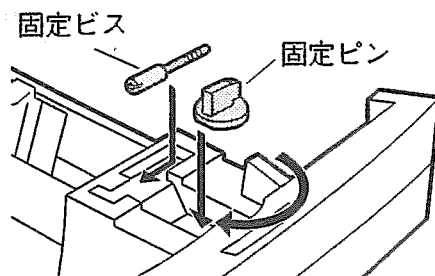
- 箱の中身がたりない場合や、破損している場合は、お手数ですが弊社のカストマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店までご連絡ください。57ページ
- 箱や梱包材は、本機を輸送するときに必要となりますので、保管しておいてください。

2.2 箱を開けて本機を設置する

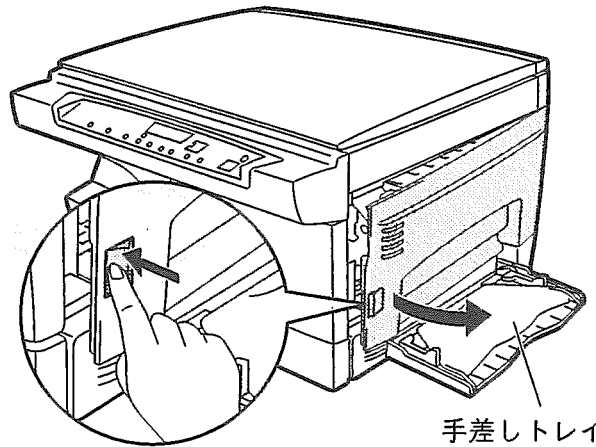
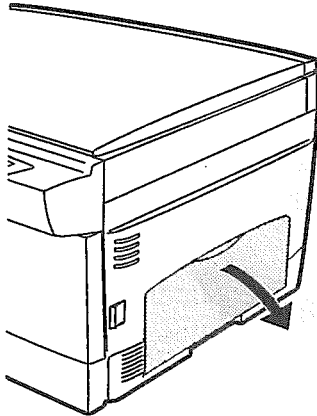
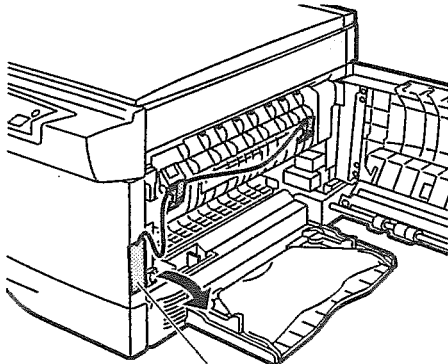
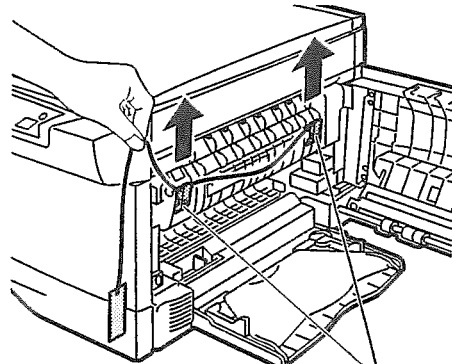
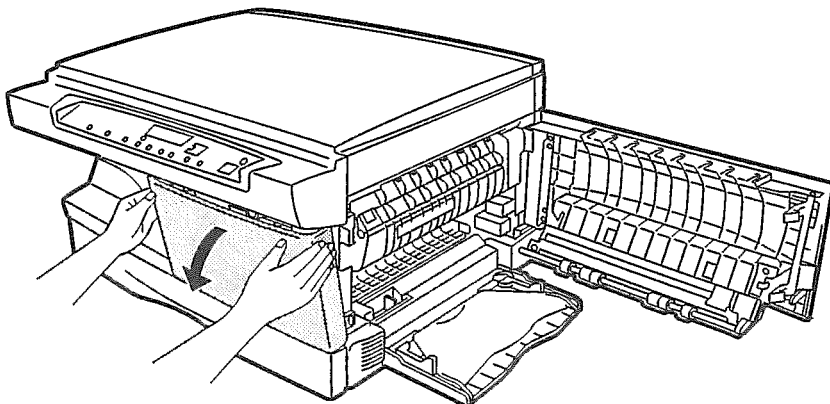
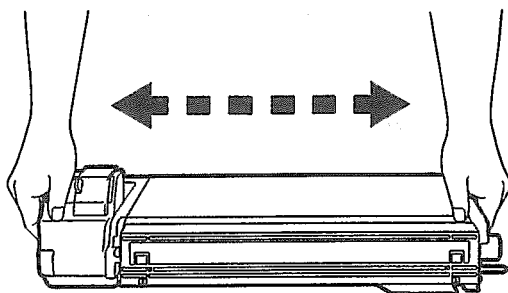
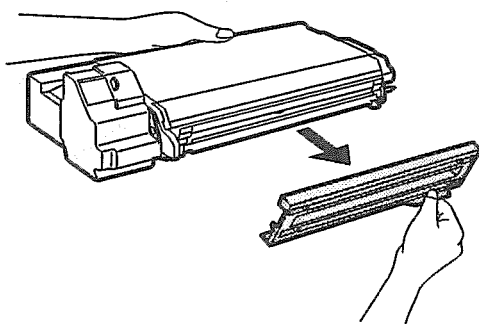
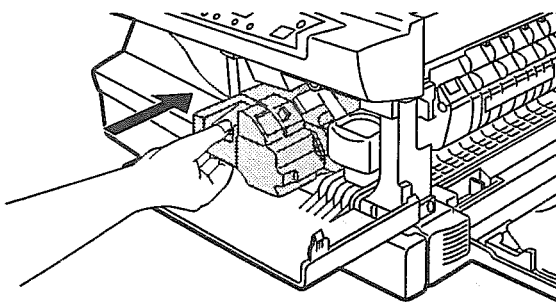
箱の梱包をとき、設置場所へ運んでください。

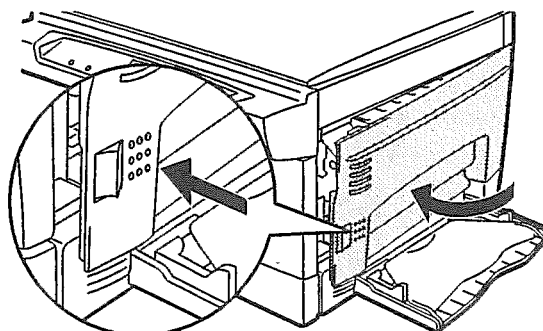
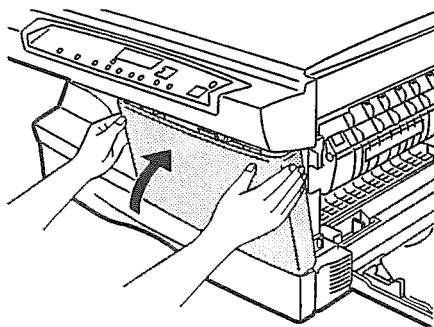
⚠注意
- 機械の重さは18.6kg（トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ含む）です。必ず2人以上で持ち運んでください。
- 機械を持ち上げるときは、機械正面に向かって、左右両側の下方にある移動用取っ手をしっかりと持ってください。移動用取っ手以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によるケガの原因となるおそれがあります。（下図の左手は軽く添えるだけにしてください。）
- 機械を持ち上げるときは、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

2.3 輸送用保護材と固定部品を取り外す

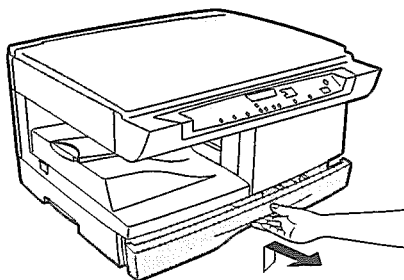
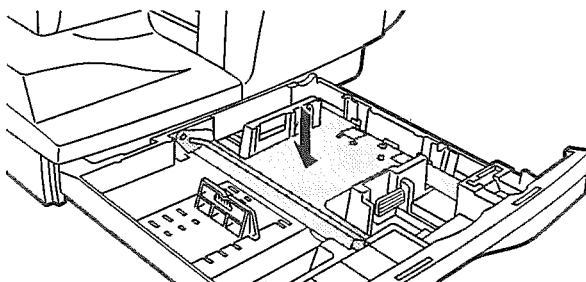
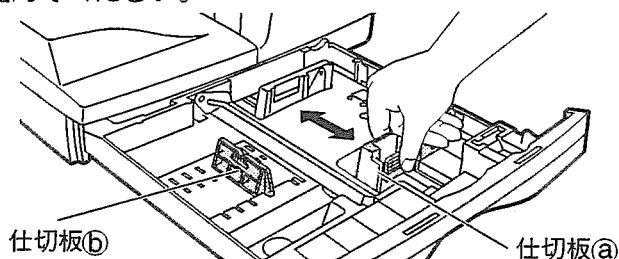
1 テープ ⓐ、ⓑ、ⓒ、ⓓ、ⓔの計5か所をはがし、保護カバーⓕを取り除きます。
次に原稿カバーを開き、テープ ⓖをはがし、保護材 ⓗ、ⓘを取り除きます。

2 コインを使って固定ビスを取り外します。

3 給紙トレイの取っ手を持ち上げながら、止まるところまで静かに引き出します。

4 固定ピンを取り外します。給紙トレイの底板を押さえながら、固定ピンを矢印の方向に回して取ってください。

5 手順2で取り外した固定ビスを給紙トレイの手前に保管します。
次に、手順4で取り外した固定ピンを給紙トレイの手前にある保管場所に入れ、矢印の方向に回して固定します。

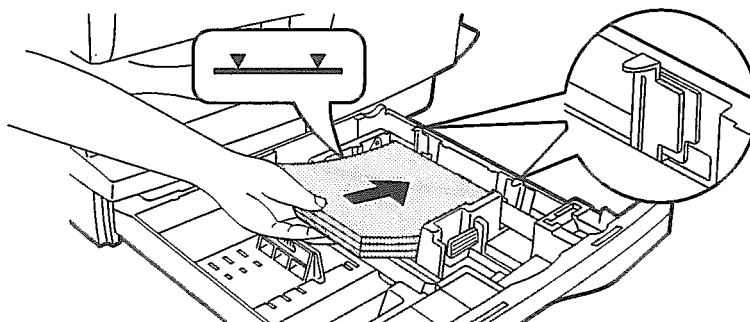
LOOK　固定ビスと固定ピンは、本機を輸送するときに必要です。なくさないように注意してください。

2.4 トナーカートリッジを取り付ける

1 手差しトレイを開きます。次に、右側面カバー開閉ボタンを押しながら、右側面カバーを開きます。

フロントカバーを開けるときは、手差しトレイが開いている状態で、必ず①右側面カバー、②フロントカバーの順で開けてください。順番を間違えるとカバーを破損するおそれがあります。

2 フロントカバーの右側面についている注意文シールをはがし、定着部についている2個の保護ピンのひもを上に引いて、1個ずつ取り外します。

3 両端を軽く押さえながらフロントカバーを開きます。

4　袋からトナーカートリッジを取り出し、紙製の保護材を取り外し、両端を持って左右に4～5回振ります。

5　保護カバーのつまみを持ち、手前に引いて取り外します。

6　トナーカートリッジをロックがかかるところまで静かに挿入します。

7　両手でフロントカバーを閉じます。次に、右側面カバー開閉ボタンの右横にある、球形突起部を押して右側面カバーを閉じます。

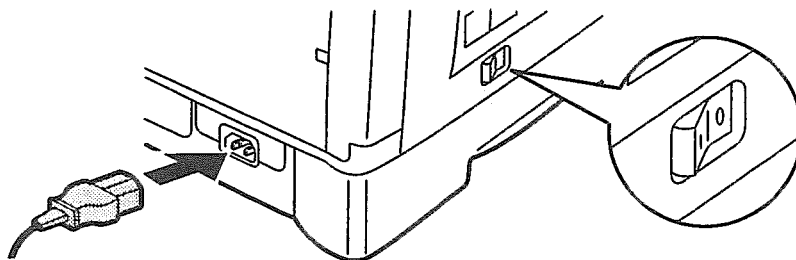
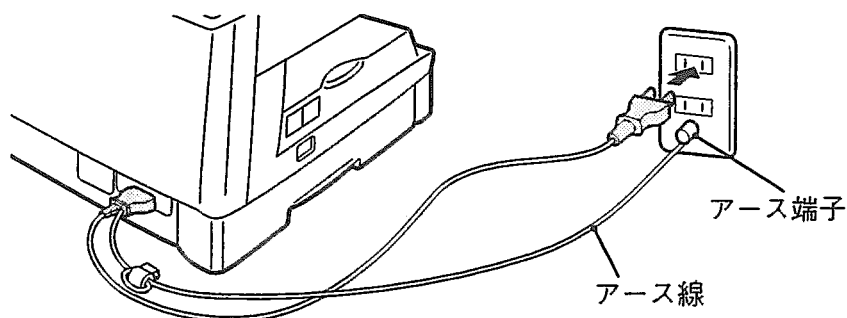
LOOK　カバーを閉じるときは、必ずフロントカバーを確実に閉じてから、右側面カバーを閉じてください。順番を間違えるとカバーを破損するおそれがあります。

2.5　給紙トレイに用紙をセットする

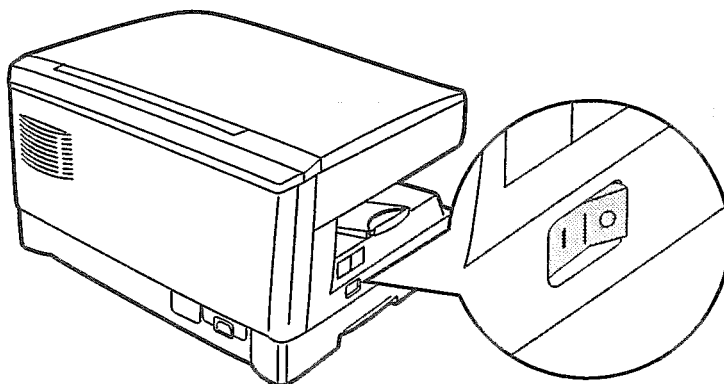
1　給紙トレイの取っ手を持ち上げながら、止まるところまで静かに引き出します。

2　給紙トレイの底板の中央をロックがかかるところまで押し下げます。

3　給紙トレイ内の仕切板 ⓐ、ⓑを、用紙の縦と横のサイズに合わせます。
仕切板 ⓐはスライド式です。固定ノブをつまみながら、補給する用紙の目盛りの位置にスライドさせてください。仕切板 ⓑは差し込み式です。取り外して、補給する用紙の目盛りの位置に差し込んでください。

4　給紙トレイに、コピーする面を上にして、用紙をセットします。用紙が、給紙トレイの右側にあるツメより下になっていることを確認してください。
セットする用紙については、「付録A　用紙について」☞53ページを参照してください。

- 給紙トレイ内側の指示線（▼――▼）を超えて用紙をセットしないでください。紙づまりの原因となります。
- 用紙をつぎ足してセットしないでください。用紙が重ねて送られることがあります。

5　給紙トレイを、カチッと音がするところまで静かに戻します。

2.6 電源コードを接続する

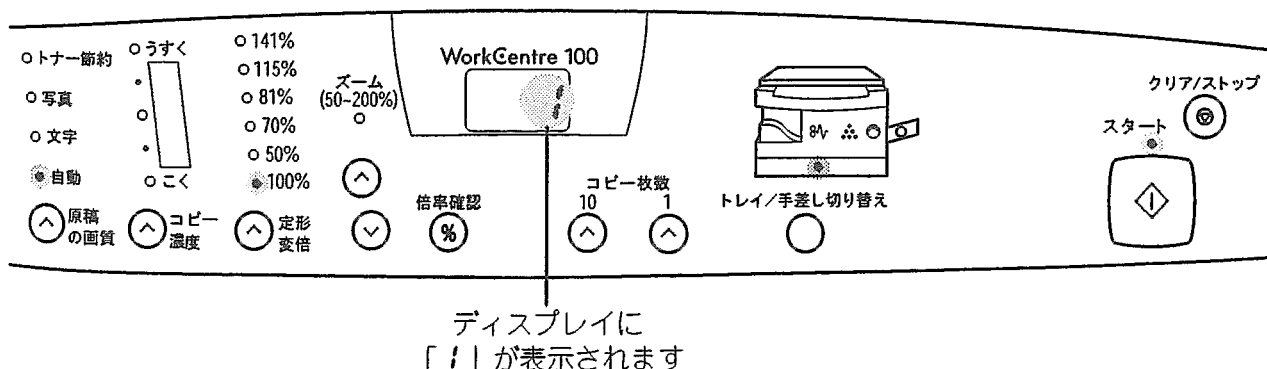
> ⚠警告
> - 電源プラグは、定格電源100Vで、定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線はしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は、100V、15Aとなっています。
> - 万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源コードとともに出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。
>   - 電源コンセントのアース線
>   - 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
>   - 接地工事（第3種）を行っている接地端子
> - ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご相談ください。
> - 次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。
>   - 電源コンセントのアース線
>   - ガス管（引火や爆発の危険があります。）
>   - 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
>   - 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

1 本機の電源スイッチが「切」（○）になっていることを確認します。
付属の電源コードを本機背面の電源コネクターに差し込みます。

2 アース線をアース端子に接続してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

2.7 電源を入れる

本機の左側面にある電源スイッチを「入」(|)側にします。操作パネル右側の[スタート]ランプが点灯し、操作パネルの各ランプが標準状態を表してコピー予約可能になります。
なお、標準状態については、次項の「標準状態の操作パネル」を参照してください。

- 電源を入れてから、またはコピー終了後、操作パネルを使用しない状態が一定時間続くと、自動的にパワーセーブモードになります。このとき、操作パネルの[スタート]ランプが点滅し、他の各ランプは点灯しています。パワーセーブモードを解除するには、操作パネルで何らかの操作をします。
  さらに使用しない状態が続くと、自動的にパワーシャットオフモードになります。このとき、操作パネルの[スタート]ランプが点滅し、他の各ランプは消えています。パワーシャットオフモードを解除するには、[スタート]キー ◈を押します。
  パワーセーブモードおよびパワーシャットオフモードに入る時間は変更することができます。
  ☞「初期設定を変更する」24ページ
- 何らかの設定(例:コピー枚数を10枚と設定)をしてコピーしたあと、一定時間が経過すると自動的に標準状態に戻ります。この機能を自動解除モードとよび、設定時間を変更することができます。
  ☞「自動解除モードの設定を変更する」28ページ

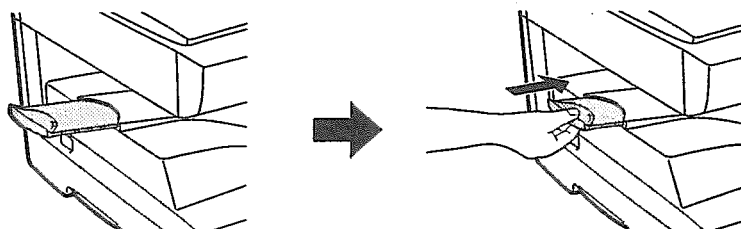
標準状態の操作パネル

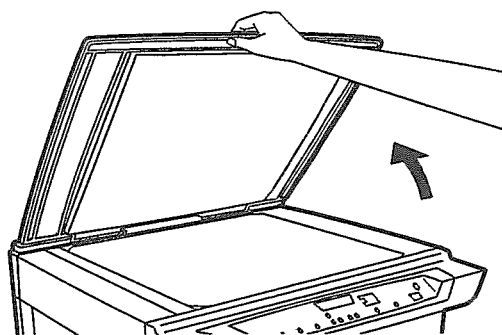
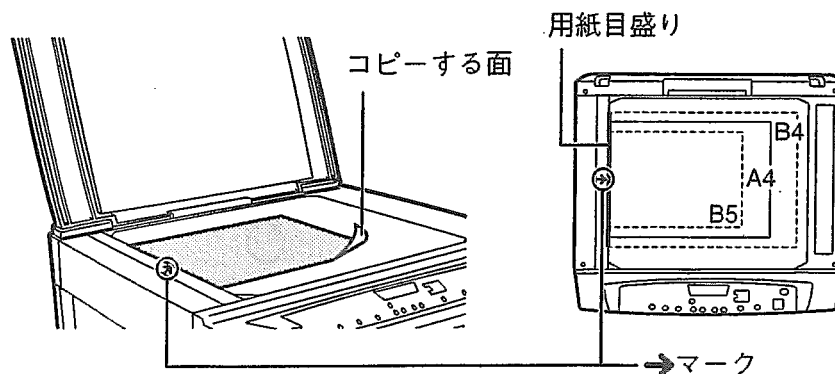
電源を入れて[スタート]ランプが点灯したときや、コピー終了後に自動解除モードがはたらいたときの操作パネルの状態を標準状態といいます。
標準状態の設定は次のとおりです。

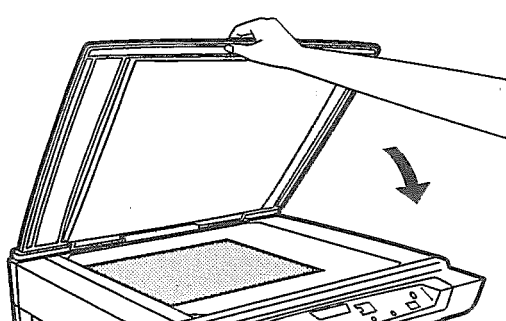
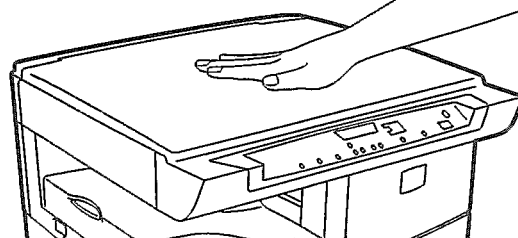
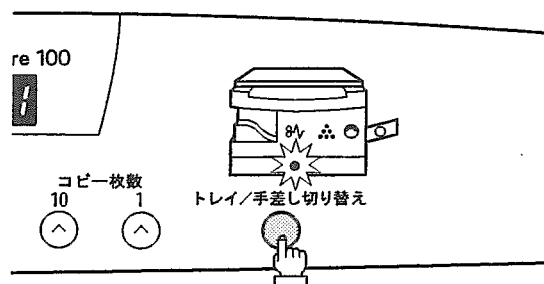
ディスプレイに
「1」が表示されます

3 コピーする

ここでは、基本的なコピーのとり方をはじめ、拡大コピー、写真のコピー、手差しトレイを使ったコピーなど、いろいろなコピーのとり方やコピーを中止する方法について説明します。

3.1 基本的なコピーのとり方

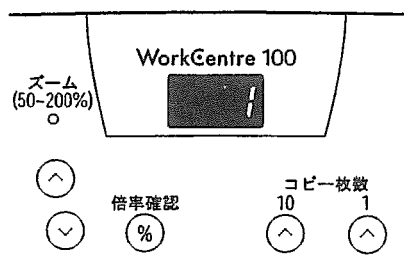
1 コピーするサイズの用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
（☞「2.5 給紙トレイに用紙をセットする」11ページ）
排紙トレイの排紙サポートが引き出されている場合は、ゆっくり押して戻します。

2 本機の電源スイッチを入れます。

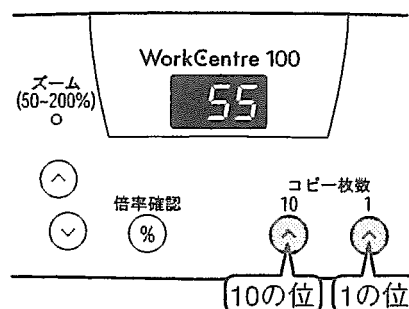
3 原稿カバーを開きます。

4 原稿は、コピーする面を下に向け、コピーガラスの用紙目盛りに合わせてセットします。
（➔ マークに原稿端面の中心を合わせてください。）
大きな原稿をコピーする場合は、次項の「大きな原稿をコピーする」を参照してください。

4　原稿カバーを静かに閉じます。
本、折り目、またはしわのある原稿をコピーしたいときは、原稿カバーを軽く押さえながらコピーしてください。原稿カバーがきっちり閉まっていない状態でコピーすると、コピー画像に影が出たり画像がぼやけたりすることがあります。

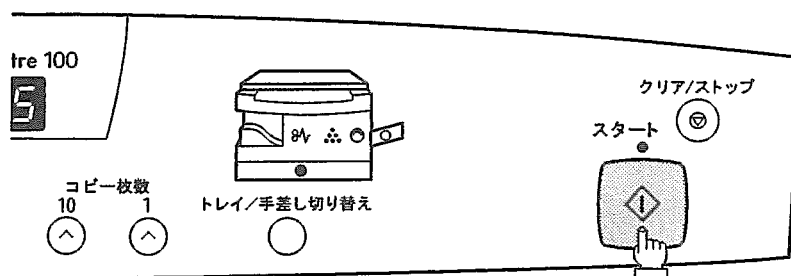
⚠注意	厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。コピーガラスが割れてケガをする原因となるおそれがあります。

本、折り目、しわのある原稿の場合

6　[トレイ/手差し切り替え]キーで給紙トレイを選択してください。

7　[コピー枚数]キーでコピー枚数を設定します。

MEMO	設定枚数を変更したいときは、[クリア/ストップ]キー◎を押してから、設定しなおしてください。

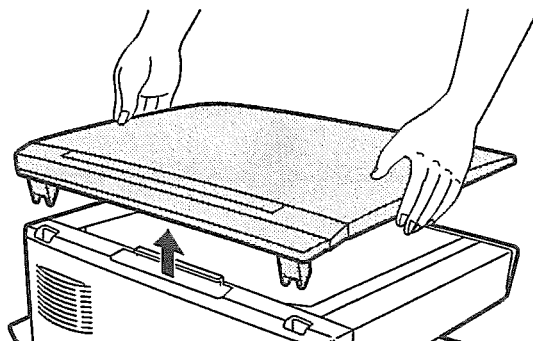
1枚だけコピーする場合

ディスプレイに「1」が表示されたままでコピーできます。

複数枚をコピーする場合

右側のキーで1の位をセットします。左側のキーで10の位をセットします。

8 ［スタート］キーを押します。

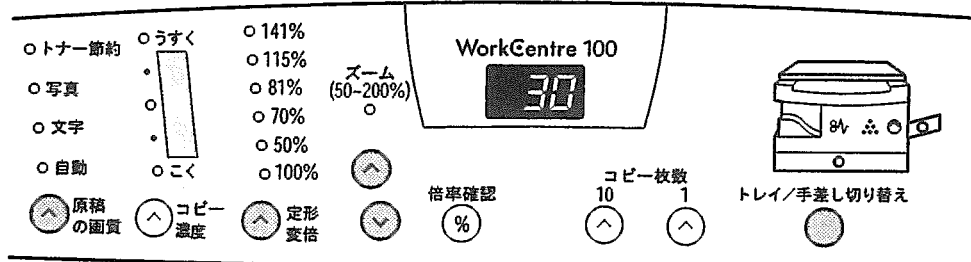
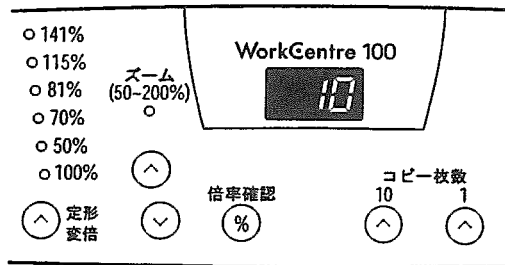
連続コピー中は、ディスプレイにコピー済み枚数が表示されます。［10］キー（左側のキー）を押すと、押している間ディスプレイに設定したコピー枚数が表示されます。

大きな原稿をセットする

新聞などの大きな原稿をコピーするときや、原稿を折り曲げたくないときは、次の手順で原稿カバーを取り外してから原稿をセットしてください。

1 原稿カバーを閉じた状態のまま、まっすぐ持ち上げて外します。

2 コピーが終了したら、原稿カバーを戻します。

⚠注意　原稿カバーを開けたままコピーをとるとき、ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。

3.2　コピーを中止する

1 連続コピー中に、〔原稿の画質〕キー、〔定形変倍〕キー、〔ズーム〕キー、〔トレイ/手差し切り替え〕キーのいずれかのキーを押すと、コピーを中止します。

2 コピーが中止されると、操作パネルのディスプレイに、コピーした枚数が表示されます。

3 〔クリア/ストップ〕キー◎を押して、ディスプレイに表示されているコピー枚数をリセットします。

4 コピー枚数を〔コピー枚数〕キーで設定し、〔スタート〕キー◈を押します。コピーを再開します。

3.3 コピーの濃さを変える／写真をコピーする

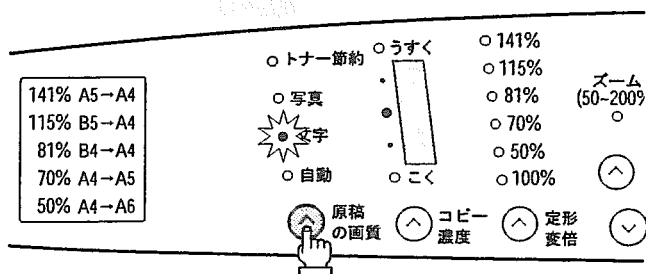
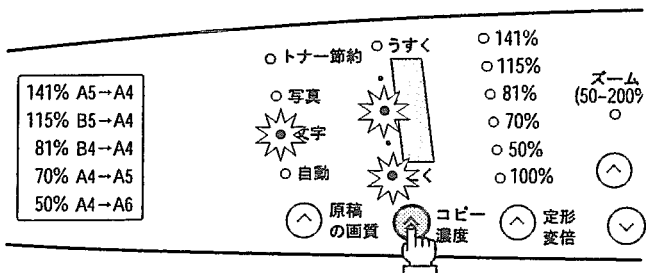
〔原稿の画質〕キーを〔自動〕に設定すると、濃度はコピーする原稿に合わせて、自動的に調整されます。濃度を調節したいときや、写真の中間階調をより鮮明にしたいときは、手動で5段階の濃度設定から選択することができます。

LOOK

〔原稿の画質〕キーで〔自動〕を選択している場合は、コピー濃度の調節はできません。

〔原稿の画質〕キーで〔トナー節約〕を選択すると、トナーの消費量が約10%下がります。

1 原稿をセットし、コピーする用紙サイズを確認してから、給紙方法を選択します。

2 〔原稿の画質〕キーを押し、〔文字〕ランプを点灯させます。写真をコピーするときは、〔写真〕ランプを点灯させます。

3 〔コピー濃度〕キーを押してコピー濃度を調整します。
中間値を設定すると、ランプが2個同時に点灯します。

4 コピー枚数を〔コピー枚数〕キーで設定し、〔スタート〕キー ◈ を押します。

3.4　コピーを拡大・縮小する

50～200%の範囲で拡大・縮小コピーがとれます。また[定形変倍]キーで、あらかじめ設定されている5種類（50%、70%、81%、115%、141%）の倍率を選択することができます。

コピー倍率一覧表

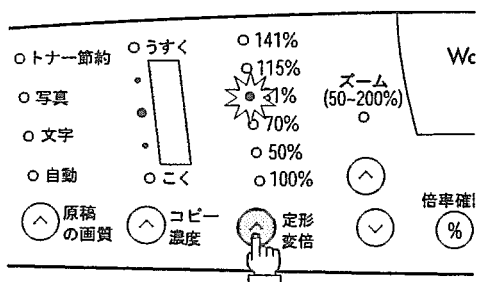
原稿＼コピー	A6	B6	A5	B5	A4
A6	100%	122%	141%	173%	200%
B6	82%	100%	116%	142%	164%
A5	71%	86%	100%	123%	141%
B5	58%	70%	81%	100%	115%
A4	50%	61%	70%	87%	100%
B4	—	50%	58%	71%	81%

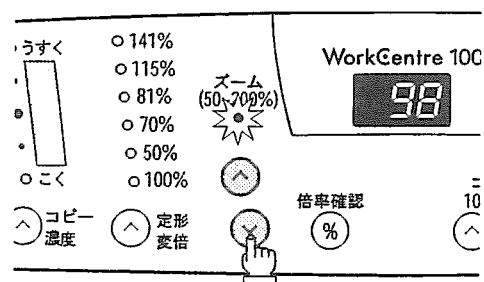
1　原稿をセットし、コピーする用紙サイズを確認してから給紙方法を選択します。

2　[定形変倍]キーまたは、[ズーム]キーで倍率を選択します。

- [ズーム]キーで設定した倍率を確認したいときは、[倍率確認]キー(%)を押し続けてください。押している間、ディスプレイに倍率が表示されます。
- 倍率を等倍（100%）に戻すには、[定形変倍]キーを押して100%の表示ランプを点灯させてください。

固定倍率を選ぶ場合

[定形変倍]キーを押して、倍率を設定します。

任意倍率を選ぶ場合

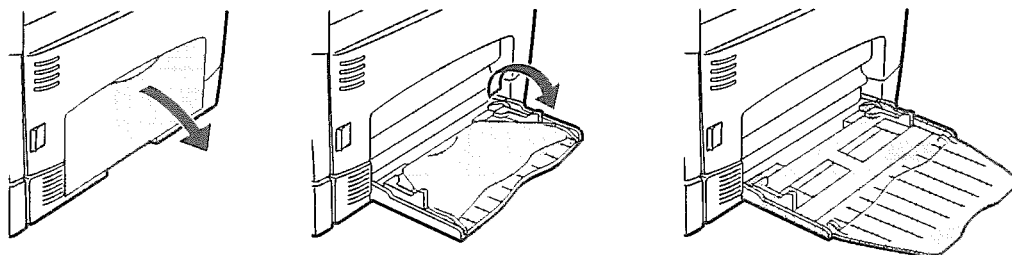
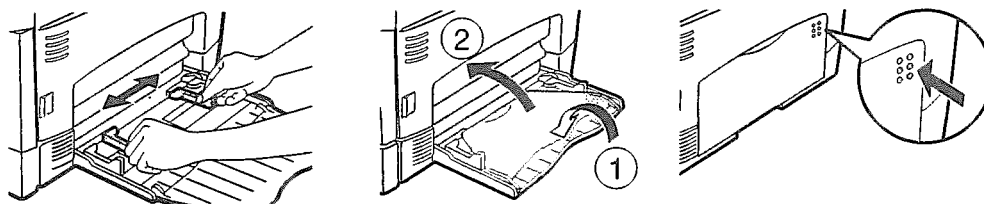
[ズーム]キー⌄⌃を押して、倍率を設定します。[ズーム]ランプが点灯し、ディスプレイに倍率が表示されます。

3　コピー枚数を[コピー枚数]キーで設定し、[スタート]キー◇を押します。

3.5 手差し給紙でコピーする

普通紙以外の用紙（官製はがき、OHPフィルム、封筒、ラベル用紙などの特殊用紙）にコピーする場合は、次の手順で手差しトレイに用紙をセットしてください。

官製はがきをコピーするときは、テストコピーをすることをお勧めします。

1 原稿カバーを開きます。原稿はコピーする面を下に向け、コピーガラスの用紙目盛りに合わせてセットします。原稿カバーを静かに閉じます。

2 手差しトレイを開きます。

MEMO 手差しトレイを閉じるときは、手差しガイドを左右にいっぱいまで開いてから、①・②の手順で閉じ、トレイの右端にある球形突起部を、カチッと音がするまで閉じてください。

3 手差しガイドをコピーする用紙の幅に合わせます。
手差しトレイに、コピーする面を下にして用紙を挿入します。
普通紙は50枚、官製はがきは20枚までセットできます。OHPフィルム、封筒、ラベル用紙は1枚づつセットしてください。

MEMO 用紙をつぎ足してセットしないでください。用紙が重ねて送られることがあります。

- 用紙や官製はがきを手差しトレイにセットするときは、必ず横長方向（　）にセットしてください。縦長方向（　）にセットすると、紙づまりの原因となります。
- 官製はがきを印刷する場合は、図のように原稿と官製はがきの向きが同じになるようにセットします。

4　［トレイ/手差し切り替え］キーで手差しトレイを選択し、［スタート］キーを押します。

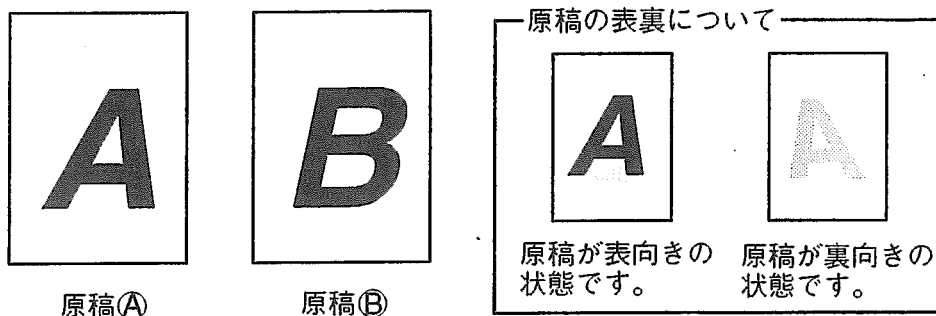
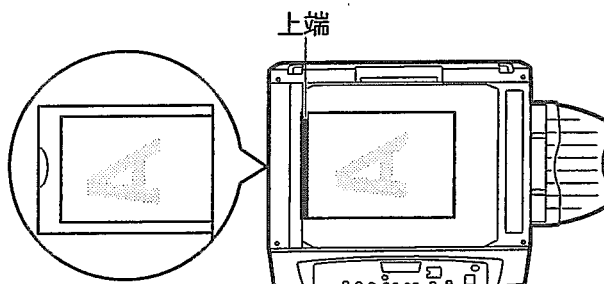
- 官製はがきへの両面コピーはしないでください。紙づまりやコピー汚れの原因となります。
- カールや波うちの大きい用紙は、平らに戻してからご使用ください。紙づまりや写り不良の原因となります。
- 官製はがきへのあて名書きは、コピーしたあとで行ってください。リボンカセットを使う熱転写方式のワープロなどで印刷したあとでコピーすると、印刷した文字がはがれたり、コピー汚れの原因となります。
- OHPフィルムにコピーしたときは、排出されるごとに1枚ずつ取り除いてください。排出直後のOHPフィルムは熱を持っており、次に排出されたOHPフィルムに付着する場合があります。
- OHPフィルムのコピー時に異音が発生する場合があります。
- 官製はがきや封筒は、排出後カールが発生する場合がありますので、平らに戻してください。
- 封筒は、排出後しわが入ることがあります。

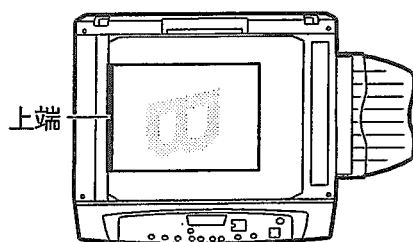
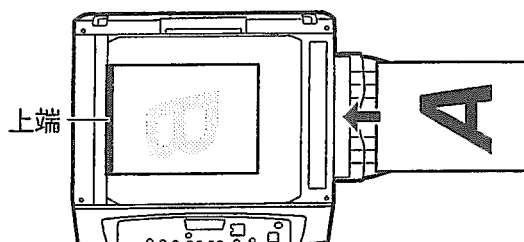
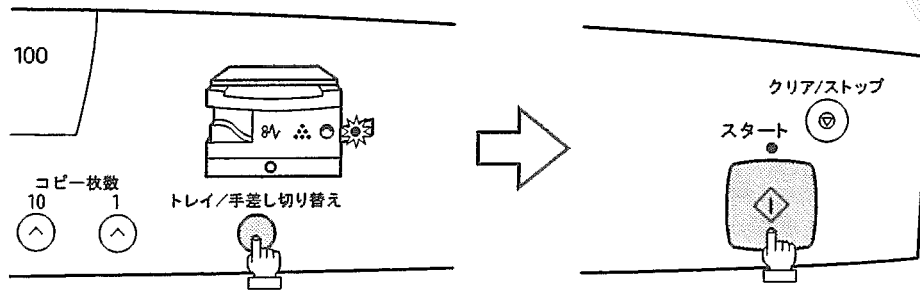
手差しトレイの用紙がなくなると、給紙表示ランプの手差しトレイ「　」が点滅し、ディスプレイで P が点滅します。用紙を補給してコピーを再開するには、［クリア/ストップ］キー◎を押します。ランプ「　」とディスプレイの P 表示が消え、コピーができる状態に戻ります。

3

コピーする

3.6　両面にコピーする

両面にコピーする場合は、手差しトレイを使用します。
次の手順は、原稿 Ⓐと Ⓑを両面コピーする場合を例にして説明しています。

1　コピーガラスに原稿 Ⓐを図のように裏向きにセットして、コピーします。

2　原稿 Ⓑを原稿 Ⓐと同じ向きにセットします。

- 裏面へのコピーは、必ず手差しで1枚ずつ挿入してください。
- カールや波うちの大きい用紙は、平らにしてからご使用ください。しわ寄りや紙づまり、写り不良の原因となります。
- 官製はがきへの両面コピーはしないでください。紙づまりやコピー汚れの原因となります。

3　原稿 Ⓐをコピーした用紙を、コピーする面を下にして、セットした原稿と同じ向きで手差しトレイにセットします。

4　〔トレイ/手差し切り替え〕キーで手差しトレイを選択し、〔スタート〕キーを押します。

いろいろな操作

この章では、本機の初期設定(パワーセーブモードの設定、パワーシャットオフモードの設定、自動解除モードの設定、自動濃度レベルの設定)を変更する方法、およびドラムカートリッジの交換時期を確認したり、総コピー枚数を確認したりする方法について説明します。
必要に応じて、操作してください。

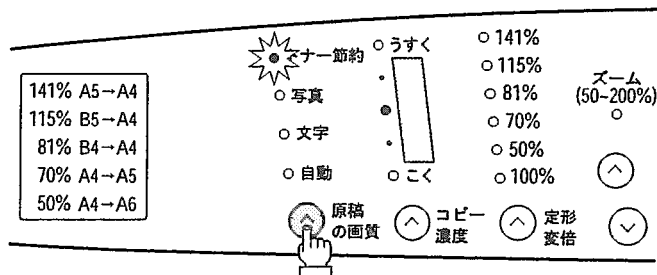
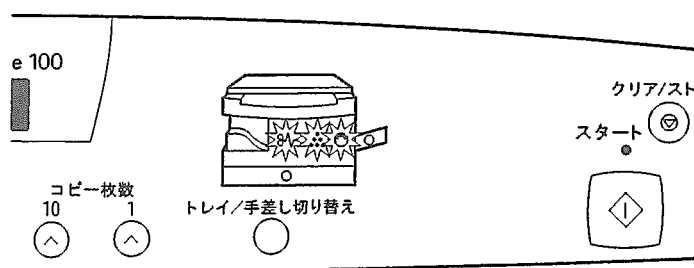
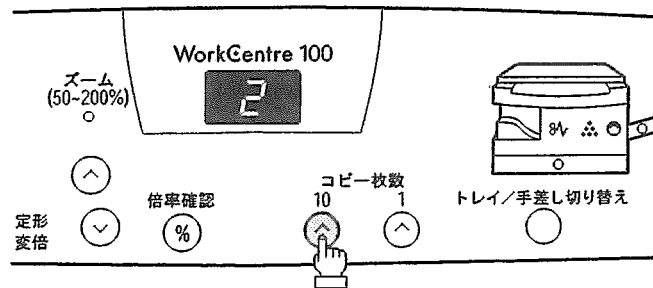
4.1 初期設定を変更する

パワーセーブモードの設定、パワーシャットオフモードの設定、自動解除モードの設定、自動濃度レベルの設定など、初期設定を変更する方法について説明します。

4.1.1 パワーセーブモードの設定を変更する

パワーセーブモードに切り替わるまでの時間を変更します。パワーセーブモードになると、消費電力が40Wまで下がり、操作パネルの[スタート]ランプが点滅します。パワーセーブモードを解除するには、操作パネルで何らかの操作([コピー枚数]キーでコピー枚数を設定するなど)をしてください。自動的にモードが解除されます。
パワーセーブモードに切り替わるまでの時間は、45秒、90秒、2分、5分のなかから選択します。
パワーセーブモードに切り替わらないように設定することもできます。初期設定値は、90秒です。

MEMO
- パワーセーブモードの消費電力の数値は、使用環境によって変動する場合があります。
- パワーシャットオフモードになっている場合は、[スタート]キー ◈ を押して解除してから、操作を行ってください。

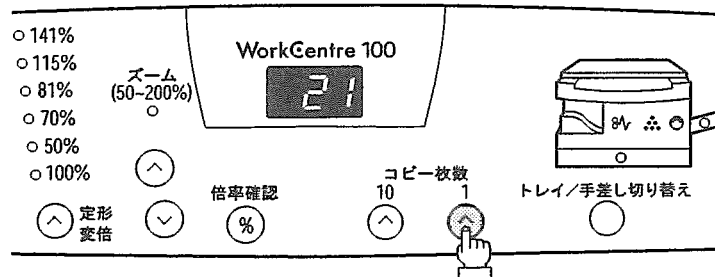
1 [原稿の画質]キーを押し、[トナー節約]ランプを点灯させます。

2 もう一度、[原稿の画質]キーを5~6秒間押し続けると、警告表示ランプの[8⁄v]、[∴]、[◉]がいっせいに点滅します。

3 [コピー枚数] の[10] キー (左側のキー) を押し、「2」を選択します。

4 [スタート]キー ◈を押します。
手順3で選択した数値「2」が点滅から点灯に変わり、ディスプレイの1の位の数字が点滅します。

5 [コピー枚数] の[1] キー (右側のキー) を押し、次の選択コード表を参照して設定コードを選択します。

例：パワーセーブモードに切り替わるまでの時間を45秒に設定する場合は、設定コード「1」を[コピー枚数] の[1] キー (右側のキー) で選択します。

選択コード表

設定コード	設定時間
0	設定しない
1	45秒
2	90秒*
3	2分
4	5分

＊初期設定値です。

6 [スタート]キー ◈を押します。
手順5で選択した数値が点滅から点灯に変わります。

> MEMO　このとき、設定の変更や別の機能を設定する場合は、[クリア/ストップ] キー◎を押してください。手順3から操作することができます。

7 [原稿の画質] キーを押します。設定が終了し、コピーができる状態に戻ります。

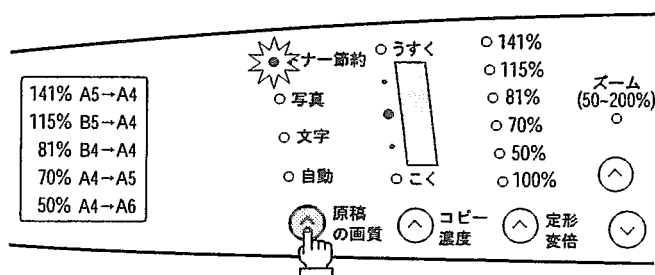
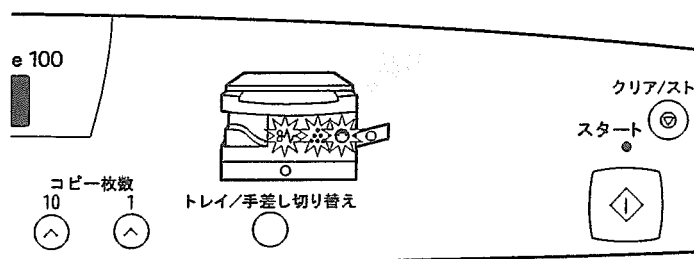
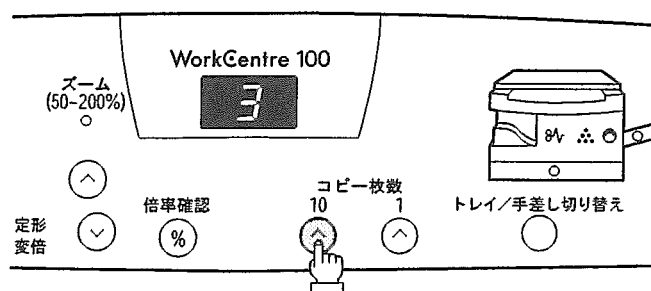
4　いろいろな操作

4.1.2 パワーシャットオフモードの設定を変更する

パワーシャットオフモードに切り替わるまでの時間を変更します。パワーシャットオフモードになると、消費電力が18Wまで下がり、操作パネルの[スタート]ランプ以外のランプが消えます。パワーシャットオフモードを解除するには、操作パネルで[スタート]キー ◈ を押してください。自動的にモードが解除されます。

パワーシャットオフモードに切り替わるまでの時間は、2、5、15、30、60、120分のなかから選択します。パワーシャットオフモードに切り替わらないように設定することもできます。初期設定値は、5分です。

- パワーシャットオフモードの消費電力の数値は、使用環境によって変動する場合があります。
- パワーシャットオフモードになっている場合は、[スタート]キー ◈ を押して解除してから、操作を行ってください。

1 [原稿の画質]キーを押し、[トナー節約] ランプを点灯させます。

2 もう一度、[原稿の画質] キーを5～6秒間押し続けると、警告表示ランプの[8✓]、[∴]、[●]がいっせいに点滅します。

3 [コピー枚数] の[10] キー (左側のキー) を押し、「3」を選択します。

4 [スタート]キー ◈ を押します。
手順3で選択した数値「3」が点滅から点灯に変わり、ディスプレイの1の位の数字が点滅します。

5 〔コピー枚数〕の〔1〕キー（右側のキー）を押し、次の選択コード表を参照して設定コードを選択します。

例：パワーシャットオフモードに切り替わるまでの時間を15分に設定する場合は、設定コード「2」を〔コピー枚数〕の〔1〕キー（右側のキー）で選択します。

選択コード表

設定コード	設定時間
0	2分
1	5分*
2	15分
3	30分
4	60分
5	120分
6	設定しない

＊初期設定値です。

6 〔スタート〕キー ◇を押します。
手順5で選択した数値が点滅から点灯に変わります。

このとき、設定の変更や別の機能を設定する場合は、〔クリア／ストップ〕キー◎を押してください。手順3から操作することができます。

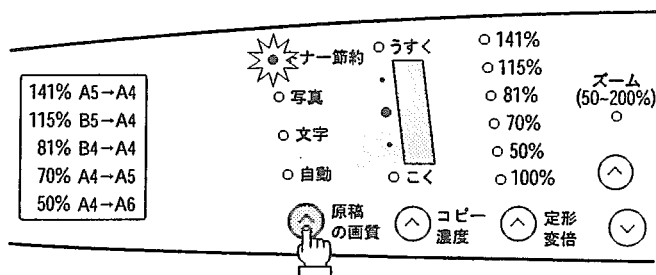
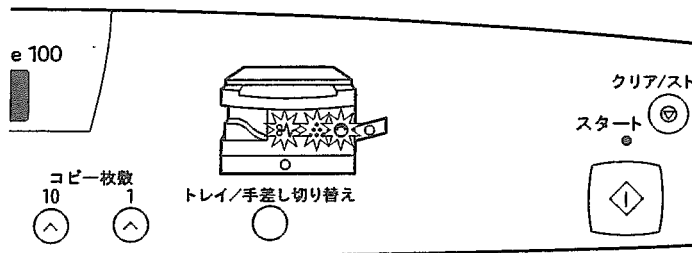
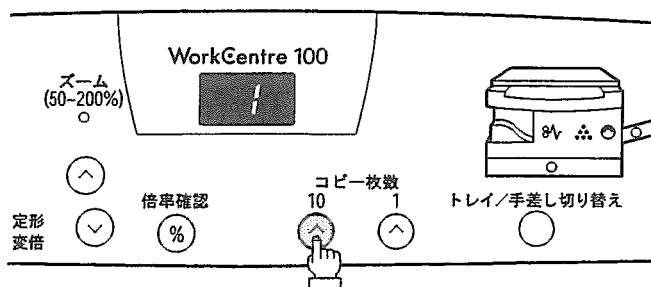
7 〔原稿の画質〕キーを押します。設定が終了し、コピーができる状態に戻ります。

4.1.3 自動解除モードの設定を変更する

自動解除モードに切り替わるまでの時間を変更します。自動解除モードとは、何らかの設定（例：コピー枚数を10枚と設定）をしてコピーしたあと、一定時間が経過すると、自動的に設定が解除されて、標準状態（☞ 13ページ）に戻ることです。

自動解除モードに切り替わるまでの時間は、30､60､90､120秒のなかから選択します。自動解除モードに切り替わらないように設定することもできます。初期設定値は、60秒です。

パワーシャットオフモードになっている場合は、［スタート］キー ⟐ を押して解除してから、操作を行ってください。

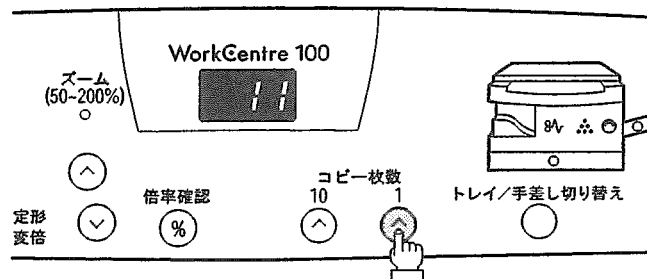
1 ［原稿の画質］キーを押し、［トナー節約］ランプを点灯させます。

2 もう一度、［原稿の画質］キーを5～6秒間押し続けると、警告表示ランプの［8⁄V］、［∴］、［◎］がいっせいに点滅します。

3 ［コピー枚数］の［10］キー（左側のキー）を押し、「1」を選択します。

4 ［スタート］キー ⟐ を押します。
手順3で選択した数値「1」が点滅から点灯に変わり、ディスプレイの1の位の数字が点滅します。

5 ［コピー枚数］の［1］キー（右側のキー）を押し、次の選択コード表を参照して設定コードを選択します。

例：自動解除モードに切り替わるまでの時間を30秒に設定する場合は、設定コード「1」を［コピー枚数］の［1］キー（右側のキー）で選択します。

選択コード表

設定コード	設定時間
0	設定しない
1	30秒
2	60秒*
3	90秒
4	120秒

＊初期設定値です。

6 ［スタート］キー ◈ を押します。
手順5で選択した数値が点滅から点灯に変わります。

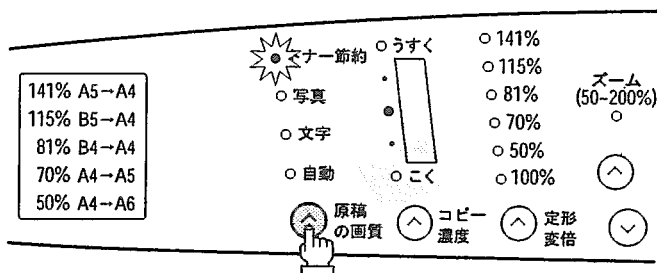
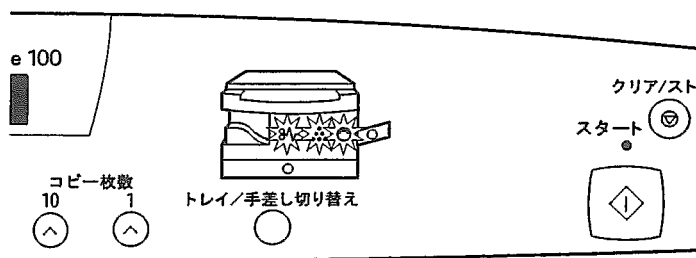
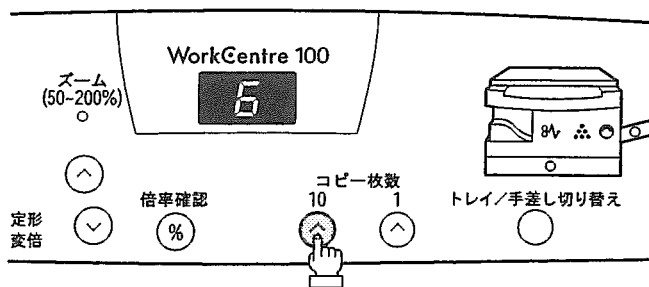
> MEMO　このとき、設定の変更や別の機能を設定する場合は、［クリア/ストップ］キー◎を押してください。手順3から操作することができます。

7 ［原稿の画質］キーを押します。設定が終了し、コピーができる状態に戻ります。

4.1.4 自動濃度レベルの設定を変更する

コピーする原稿に合わせてコピー濃度を自動的に調整する「自動濃度調整機能」の濃度レベルを調節します。[原稿の画質] キーで[自動]を選択してコピーしている場合に、常にコピーが濃くなったり、または薄くなったりしたときは、自動濃度レベルの設定を変更してください。
自動濃度レベルは5段階で設定します。初期設定値は、標準です。

パワーシャットオフモードになっている場合は、[スタート]キー ◈ を押して解除してから、操作を行ってください。

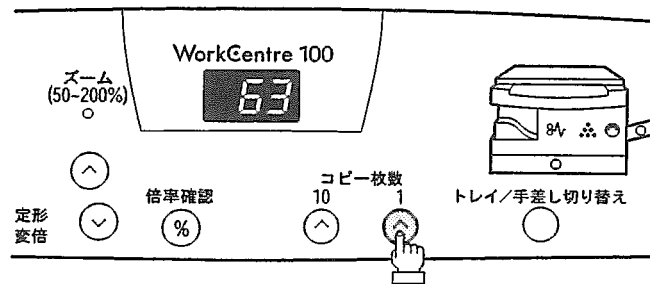
1 [原稿の画質]キーを押し、[トナー節約] ランプを点灯させます。

2 もう一度、[原稿の画質] キーを5～6秒間押し続けると、警告表示ランプの [8⁄V]、[∴]、[●]がいっせいに点滅します。

3 [コピー枚数] の[10] キー (左側のキー) を押し、「6」を選択します。

4 [スタート]キー ◈ を押します。
手順3で選択した数値「6」が点滅から点灯に変わり、ディスプレイの1の位の数字が点滅します。

5 〔コピー枚数〕の〔1〕キー（右側のキー）を押し、次の選択コード表を参照して設定コードを選択します。

例：濃度レベルを標準から1段階濃くする場合は、設定コード「3」を〔コピー枚数〕の〔1〕キー（右側のキー）で選択します。

選択コード表

設定コード	設定時間
0	薄い
1	やや薄い
2	標準*
3	やや濃い
4	濃い

＊初期設定値です。

6 〔スタート〕キー ◈ を押します。
手順5で選択した数値が点滅から点灯に変わります。

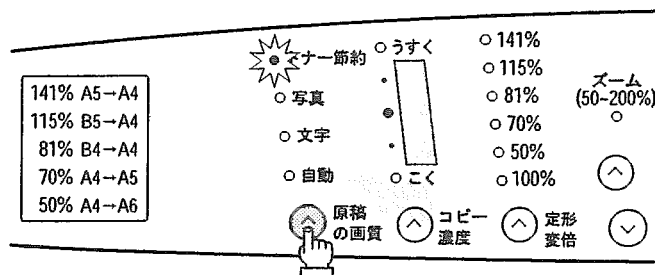
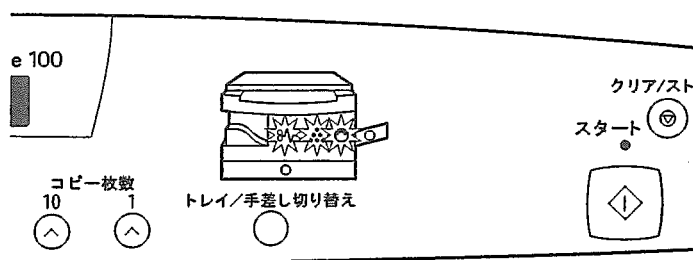
このとき、設定の変更や別の機能を設定する場合は、〔クリア/ストップ〕キー◎を押してください。手順3から操作することができます。

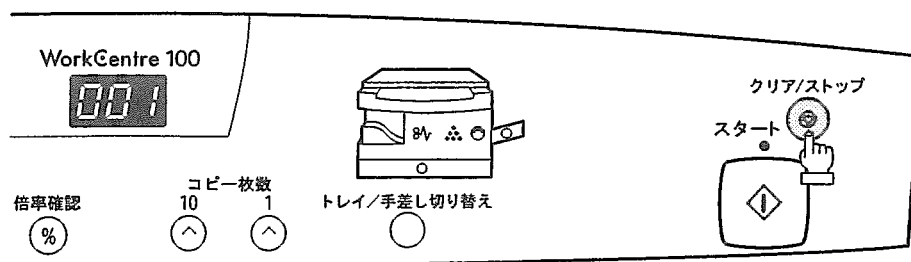
7 〔原稿の画質〕キーを押します。設定が終了し、コピーができる状態に戻ります。

4.2 ドラムカートリッジの交換時期を確認する

ドラムカートリッジの交換時期は、コピー可能枚数をディスプレイに表示して確認することができます。コピー可能枚数とは、現在使用しているドラムカートリッジで、あと何枚コピーできるかを示す数値です。
コピー可能枚数の表示のしかたは、次のとおりです。

パワーシャットオフモードになっている場合は、[スタート]キー [◇]を押して解除してから、操作を行ってください。

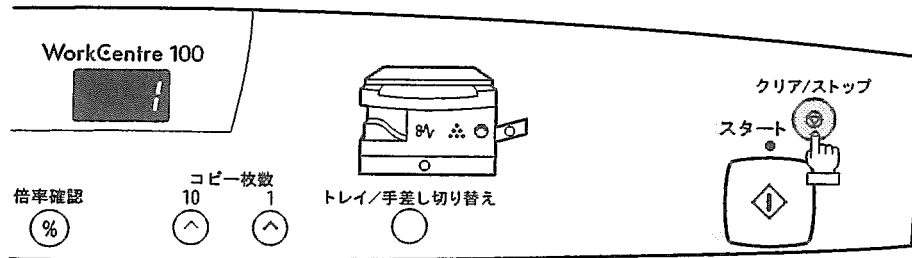
1 [原稿の画質]キーを押し、[トナー節約] ランプを点灯させます。

2 もう一度、[原稿の画質] キーを5〜6秒間押し続けると、警告表示ランプの [8⁄v]、[∴]、[◎]がいっせいに点滅します。

3 [クリア/ストップ] キーを5〜6秒間押し続けると、押している間、ディスプレイにコピー可能枚数が3けたずつ2回に分けて表示されます。

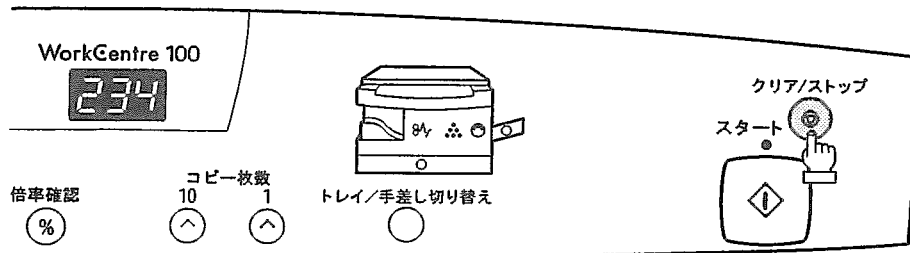
例：コピー可能枚数が1,234枚の場合 001 ⇨ 234

4 [原稿の画質] キーを押します。コピーができる状態に戻ります。

4.3　総コピー枚数を確認する

次の手順で、本機の総コピー枚数を確認することができます。

MEMO　パワーシャットオフモードになっている場合は、〔スタート〕キー を押して解除してから、操作を行ってください。

1　操作パネルのディスプレイの表示が「1」になっていない場合は、〔クリア/ストップ〕キーを押して、表示を「1」にします。

2　〔クリア/ストップ〕キーを5～6秒間押しつづけると、押している間、ディスプレイに総コピー枚数が3けたずつ2回に分けて表示されます。

例：総コピー枚数が1,234枚の場合

消耗品の交換と日常のお手入れ

消耗品の交換方法、本機を清掃および輸送するときの手順について説明します。

5.1 トナーカートリッジを交換する

トナーの残量が少なくなると、トナーカートリッジ交換ランプ「∴」が点灯します。ランプ「∴」が点灯してから約10枚はコピーできますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。
ただし、ディスプレイに「 d1 」が表示されると交換時期です。
次の手順で新しいトナーカートリッジに交換してください。

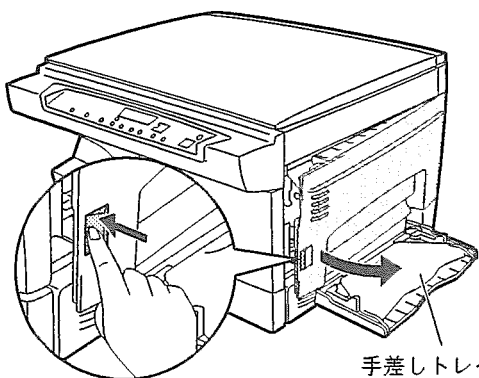
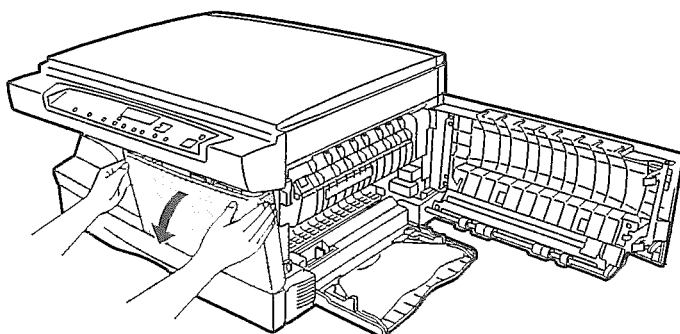
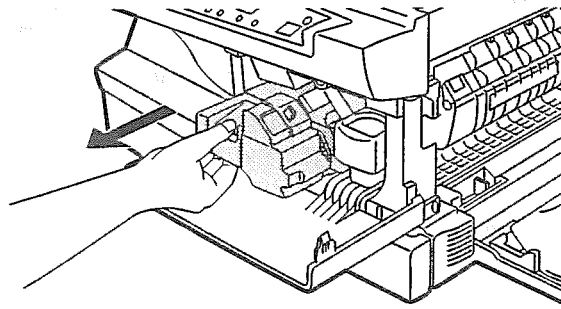
LOOK ディスプレイに「 d1 」が表示された場合、本機は動きません。直ちにトナーカートリッジを交換してください。

MEMO
- 新しいトナーカートリッジと交換する前に、トナーカートリッジを取り出しカートリッジ内のトナーが均一になるように、ゆっくり左右に振ってから再セットしてみてください。ランプが消えて何枚かコピーできることもあります。できないときは、すみやかに新しいトナーカートリッジと交換してください。
- 黒い部分の多い原稿を連続してコピーした場合、〔スタート〕ランプが点滅（トナーカートリッジ交換ランプ「∴」は点灯）した状態でコピーが一時的に停止することがあります。この間、本機内部では約2分間トナー補給が行われます。
〔スタート〕ランプが点灯（トナーカートリッジ交換ランプは消灯）するとコピー可能状態となり、〔スタート〕キーを押すとコピーを再開します。

1 交換するトナーカートリッジを置くための紙を準備し、平らな場所に置きます。

LOOK トナーカートリッジからトナーがこぼれる場合があります。汚れてもよい紙を準備してください。

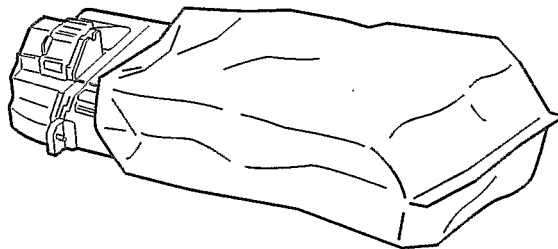
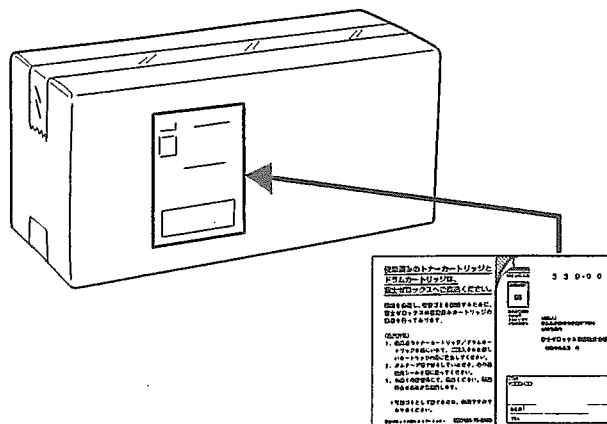
2 手差しトレイが開いていることを確認し、右側面カバー開閉ボタンを押しながら、右側面カバーを開きます。次に、両端を軽く押さえながらフロントカバーを開きます。

LOOK フロントカバーを開けるときは、手差しトレイが開いている状態で、必ず①右側面カバー、②フロントカバーの順で開けてください。順番を間違えるとカバーを破損するおそれがあります。

3 トナーカートリッジをロック解除ボタンを押しながら静かに引き出し、手順1で準備した紙の上に置きます。

4 新しいトナーカートリッジを取り付けます。取り付け方については、「トナーカートリッジを取り付ける」の手順4〜6 (☞ 10ページ) を参照してください。

5 両手でフロントカバーを閉じます。次に、右側面カバー開閉ボタンの右横にある球形突起部を押して、右側面カバーを閉じます。トナーカートリッジ交換ランプ「∴」が消え、コピーできる状態になります。

カバーを閉じるときは、必ずフロントカバーを確実に閉じてから、右側面カバーを閉じてください。順番を間違えるとカバーが破損するおそれがあります。

6 交換後、不要になったトナーカートリッジは、適切な処理が必要です。トナーカートリッジ交換時にからになった、アルミ袋と梱包箱に入れます。

⚠警告 トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

7 トナーカートリッジに同梱されている返送シールを貼り、郵便局にお出しください。送料はかかりません。

5.2 ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、ドラムカートリッジ交換ランプ「◎」が点灯します。
ランプ「◎」は、約17,000枚コピーすると点灯します。ランプ「◎」が点灯してから、約1,000枚はコピーできますが、新しいドラムカートリッジを準備してください。
ただし、ディスプレイに「U2」が表示されると交換時期です。
次の手順で新しいドラムカートリッジに交換してください。

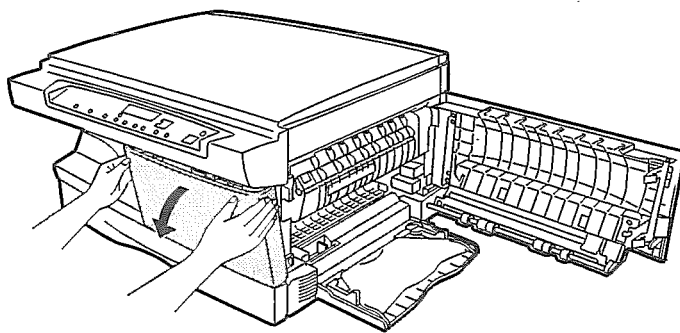
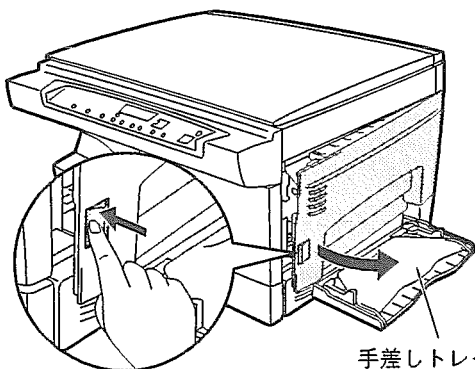
- ディスプレイに「U2」が表示された場合、本機は動きません。直ちに、ドラムカートリッジを交換してください。
- 新しいドラムカートリッジは、外光から保護するために、取り付けるまでドラムカートリッジのドラム部を包んでいる保護シート（黒紙）を取り外さないでください。

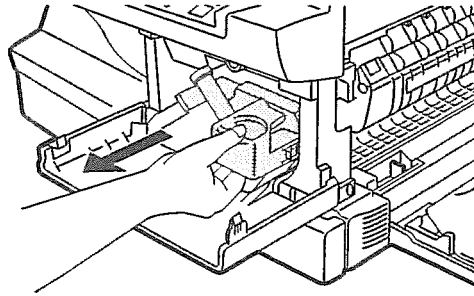
ドラムカートリッジの交換時期を確認することができます。確認のしかたは、「ドラムカートリッジの交換時期 を確認する」（☞ 32ページ）を参照してください。

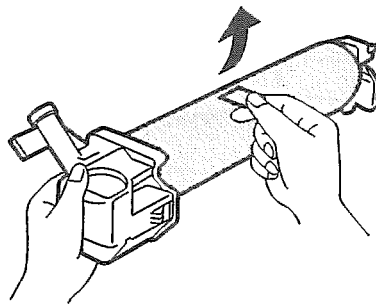
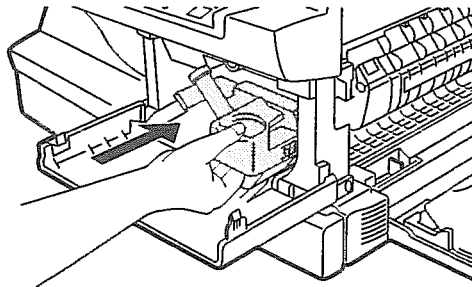
1 トナーカートリッジを置くための紙と、交換するドラムカートリッジを置くための紙を準備し、平らな場所に置きます。

トナーカートリッジやドラムカートリッジから、トナーがこぼれる場合があります。汚れてもよい紙を準備してください。

2 手差しトレイが開いていることを確認し、右側面カバー開閉ボタンを押しながら、右側面カバーを開きます。次に、両端を軽く押さえながらフロントカバーを開きます。

フロントカバーを開けるときは、手差しトレイが開いている状態で、必ず①右側面カバー、②フロントカバーの順で開けてください。順番を間違えるとカバーを破損するおそれがあります。

3 トナーカートリッジを、ロック解除ボタンを押しながら静かに引き出し、手順1で準備した紙の上に置きます。
取り出し方については、「トナーカートリッジを交換する」の手順3（☞ 35ページ）を参照してください。

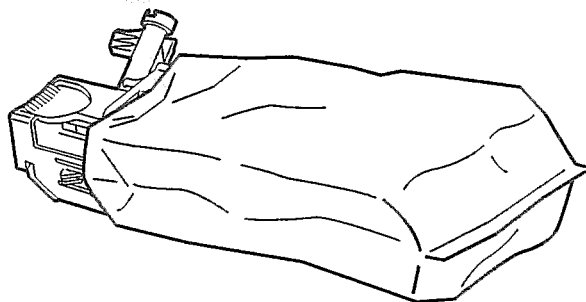
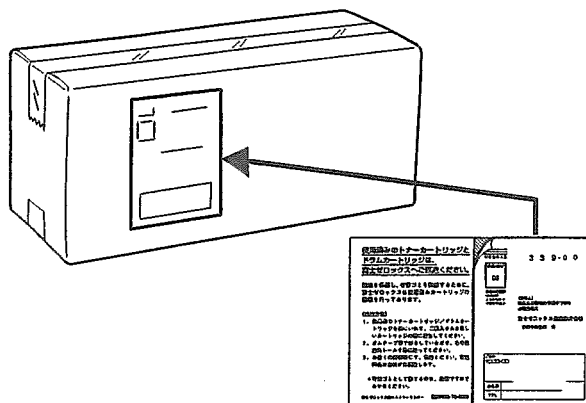
4　ドラムカートリッジの取っ手を持ち、静かに引き出し、手順1で準備した紙の上に置きます。

5　新しいドラムカートリッジを袋から取り出し、ドラムカートリッジの保護シートを取り除きます。

LOOK　ドラムカートリッジのドラム部(緑色の部分)には触れないでください。コピー汚れの原因となります。

6　新しいドラムカートリッジを静かに挿入します。

7　手順3で取り出したトナーカートリッジを、静かに挿入します。挿入のしかたについては、「トナーカートリッジを取り付ける」の手順6 (☞ 10ページ) を参照してください。

8　両手でフロントカバーを閉じます。次に、右側面カバー開閉ボタンの右横の球形突起部を押して右側面カバーを閉じます。ドラムカートリッジ交換ランプ「◎」が消え、コピーできる状態になります。

LOOK　カバーを閉じるときは、必ずフロントカバーを確実に閉じてから、右側面カバーを閉じてください。順番を間違えるとカバーが破損するおそれがあります。

9 交換後、不要になったドラムカートリッジは、適切な処理が必要です。ドラムカートリッジ交換時にからになった、アルミ袋と梱包箱に入れます。

⚠警告	ドラムカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

10 ドラムカートリッジに同梱されている返送シールを貼り、郵便局にお出しください。送料はかかりません。

5.3 清掃する

コピーガラスや原稿カバー、転写チャージャーの清掃方法について説明します。

⚠注意　機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

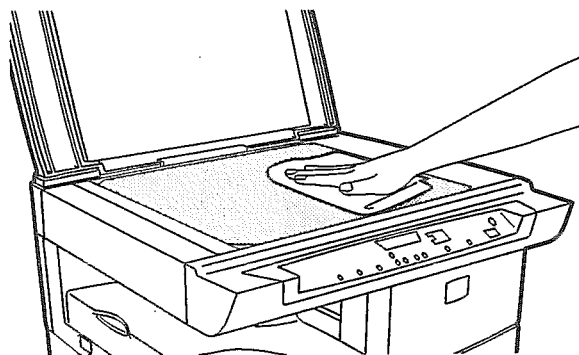
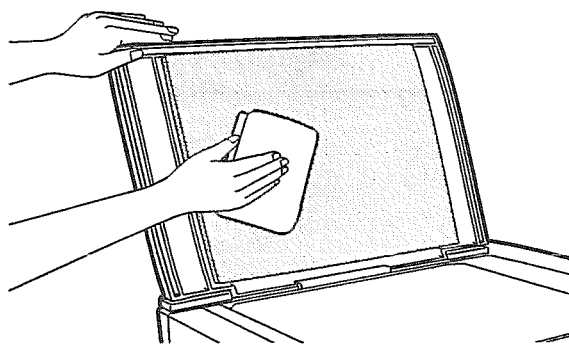
アンモニア系のスプレーや有機洗剤、シンナー、ベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください。本機の変形、変色、変質や故障の原因となります。

5.3.1 本機の外側（キャビネット）を清掃する

柔らかい、きれいな、糸くずの出ない布でからぶきしてください。

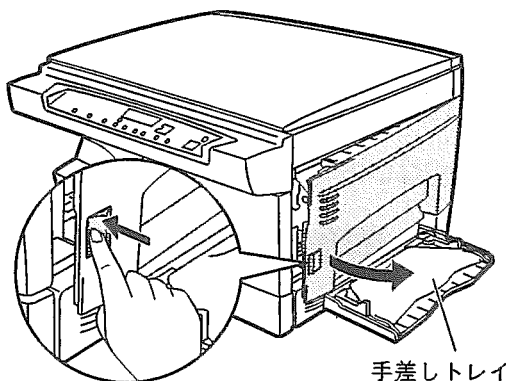
5.3.2 コピーガラス・原稿カバーを清掃する

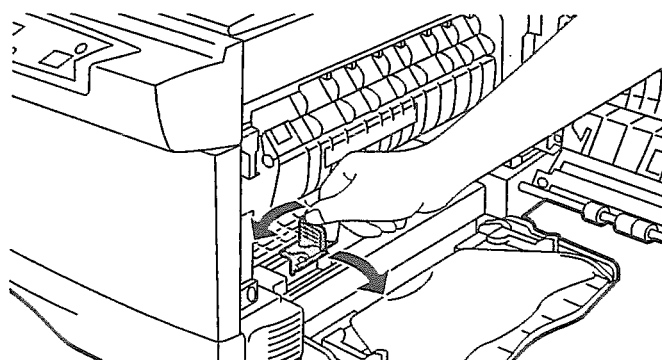
コピーガラスや原稿カバーが汚れると、コピーに汚れが写ることがあります。定期的にお手入れを行ってください。
通常は、きれいな柔らかい布でふいてください。
汚れが落ちにくいときは、水または中性洗剤を少し含ませた布でふいたあと、きれいな布でからぶきしてください。

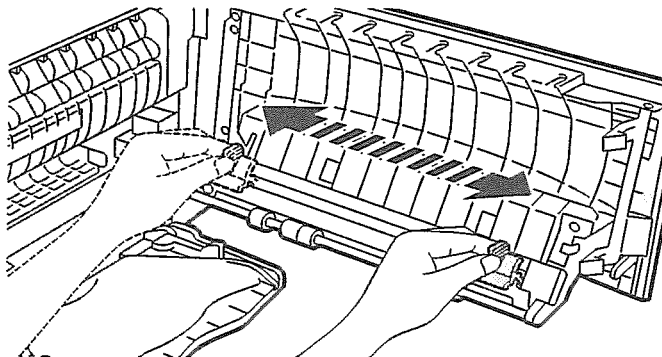
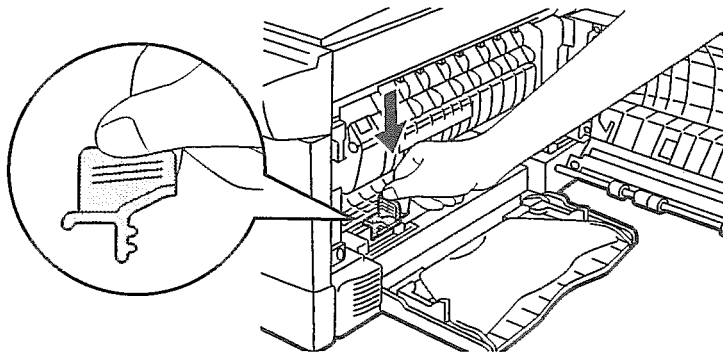
コピーガラスの清掃

原稿カバーの清掃

5.3.3 転写チャージャーを清掃する

コピーに白スジや黒スジが出たり、濃淡のムラが出てきた場合は、次の手順で転写チャージャーを清掃してください。

1 電源スイッチを切ります。

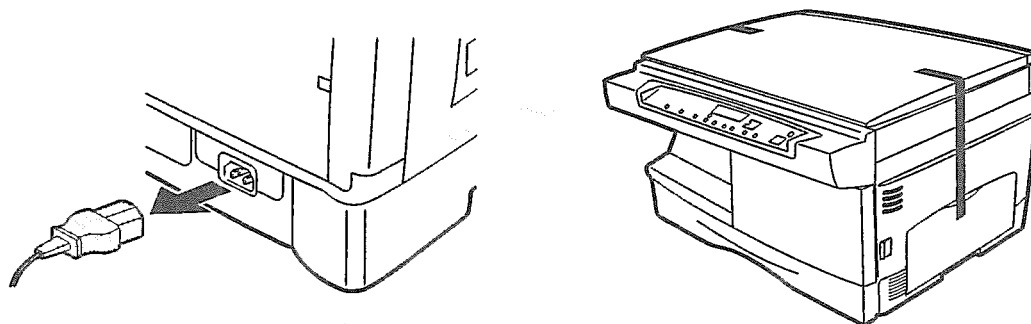
2 手差しトレイが開いていることを確認し、右側面カバー開閉ボタンを押しながら、右側面カバーを開きます。

3 チャージャークリーナーのつまみを持って、左右にひねって取り出します。

> ⚠警告　「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（ヒーター部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。
>
> なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

4 右側面カバーを大きく開き、チャージャークリーナーを転写チャージャーにセットして、矢印方向いっぱいまで2～3回静かに往復させて清掃します。

チャージャークリーナーで清掃するときは、転写チャージャーの溝を端から端まで動かしてください。途中で止めると、コピー汚れの原因になります。

5 チャージャークリーナーを元の場所に戻し、右側面カバー開閉ボタン右横の球形突起部を押して右側面カバーを閉じます。

6 電源を入れます。

5.4 長期間使用しないときには

ほこりや異物が入らないために、次の手順で収納してください。

1 電源コードを取り外し、テープ（2か所）で固定します。

5.5 輸送するときには

本機を輸送するときは、必ず次の手順で梱包してから輸送してください。

> ⚠注意
> - 機械の重さは 18.6kg (トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ含む) です。必ず2人以上で持ち運んでください。
> - 機械を持ち上げるときは、機械正面に向かって、左右両側の下方にある移動用取っ手をしっかりと持ってください。移動用取っ手以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。落下によるケガの原因となるおそれがあります。
> - 機械を持ち上げるときは、十分にひざを折り、腰を傷めないように注意してください。

1 本機の電源を切り、電源コードとアース線を外します。

2 手差しトレイを開き、右側面カバー開閉ボタンを押しながら、右側面カバーを開きます。次に両端を押さえながらフロントカバーを開きます。

フロントカバーを開けるときは、手差しトレイが開いている状態で、必ず①右側面カバー、②フロントカバーの順で開けてください。順番を間違えるとカバーを破損するおそれがあります。

3 トナーカートリッジを、ロック解除ボタンを押しながら静かに引き出します。「トナーカートリッジを交換する」の手順3 (☞ 35ページ) を参照してください。

4 フロントカバーを閉じ、右側面カバー開閉ボタン右横の球形突起部を押して右側面カバーを閉じます。

カバーを閉じるときは、必ずフロントカバーを確実に閉じてから右側面カバーを閉じてください。順番を間違えるとカバーを破損する恐れがあります。

5 給紙トレイの取っ手を持ち上げながら、止まるところまで静かに引き出し、用紙を取り出します。

6 給紙トレイの底板の中央をロックがかかるところまで押し下げ、給紙トレイ手前に保管してある固定ピンで、底板をロックします。

7 給紙トレイ手前に保管してある固定ビスを取り出し、コインを使用して本機左側面に取り付けます。

8 給紙トレイを、カチッと音がするところまで静かに戻します。

9 手差しトレイと排紙サポートを閉じ、設置するときに取り外した詰め物やテープを取り付けます。「輸送用保護材と固定部品を取り外す」(☞ 7ページ) を参照してください。

10 本機を箱に梱包します。「箱の中身を確かめる」(☞ 5ページ) を参照してください。

6 こまったときには

紙づまりや故障かなと思ったときなど、使用中にトラブルが発生したときの対処方法について説明します。

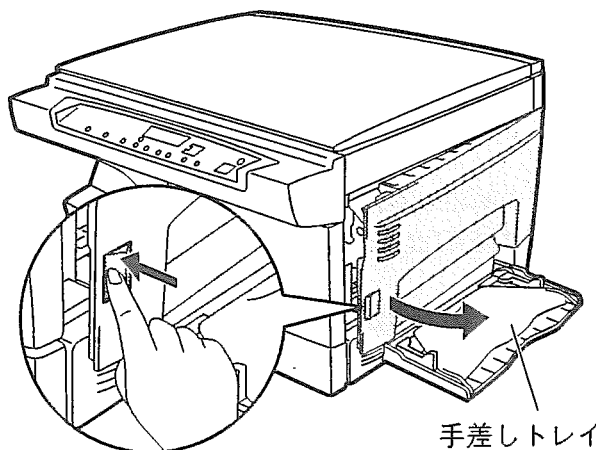
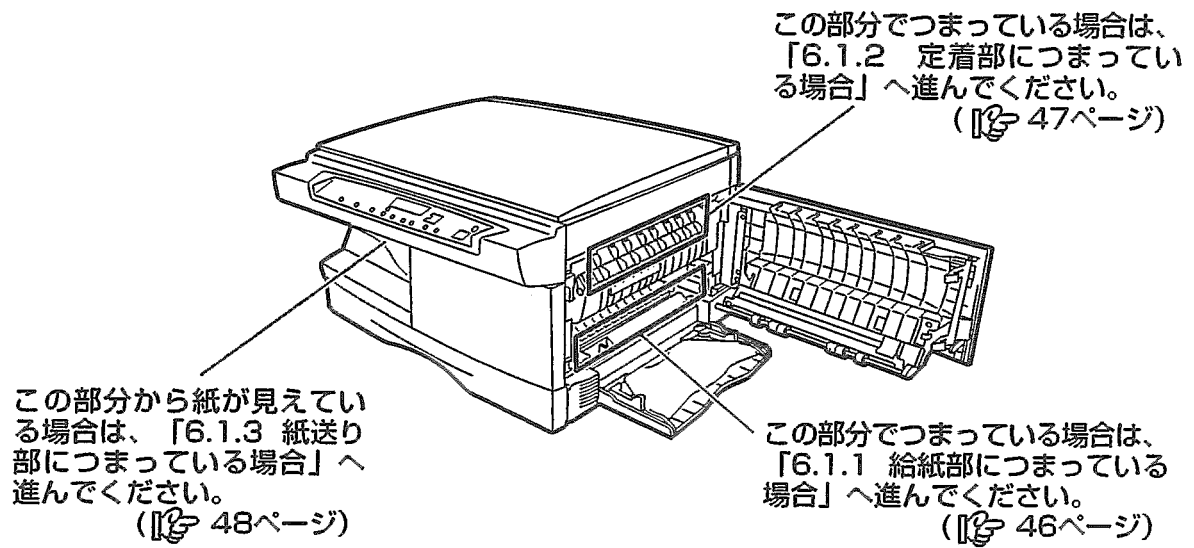
6.1　紙づまりの処置のしかた

⚠注意	・「高圧注意」を促すラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。感電の原因となることがあります。 ・「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（ヒーター部やその周辺）には、絶対に手を触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。 ・つまった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。なお、紙片や用紙がヒーター部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

紙づまりが発生すると、紙づまりランプ「8⁄√」が点滅するか、ディスプレイに「E2」が表示され、点滅します。次の手順に従って、つまっている紙を取り除いてください。

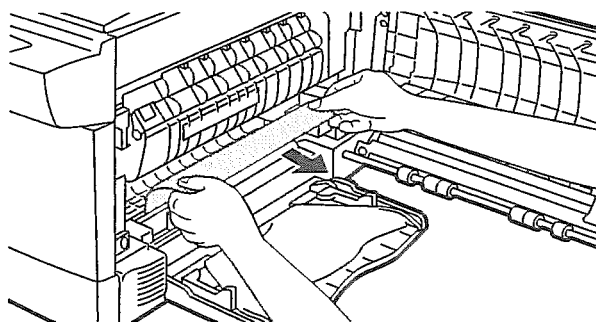
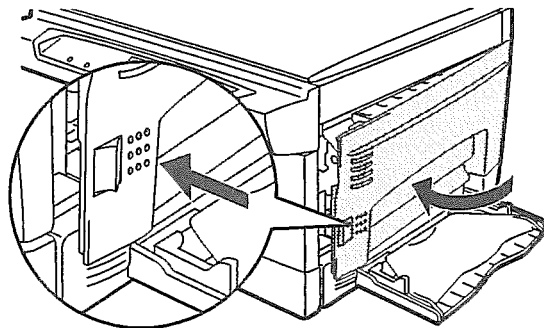
1　手差しトレイが開いていることを確認し、右側面カバー開閉ボタンを押しながら、右側面カバーを開きます。

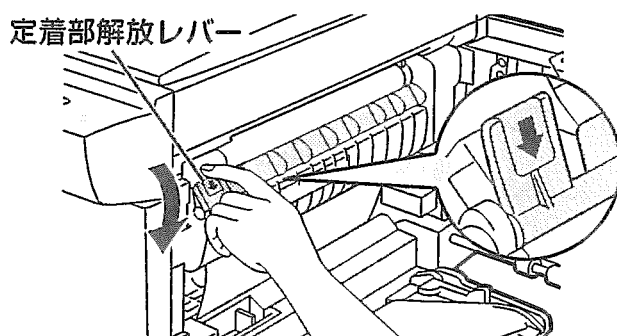
6

こまったときには

2　どの場所で紙づまりが発生しているかを確認し、次の発生場所を示すイラストの指示に従って、紙づまりを取り除いてください。

6.1.1 給紙部につまっている場合

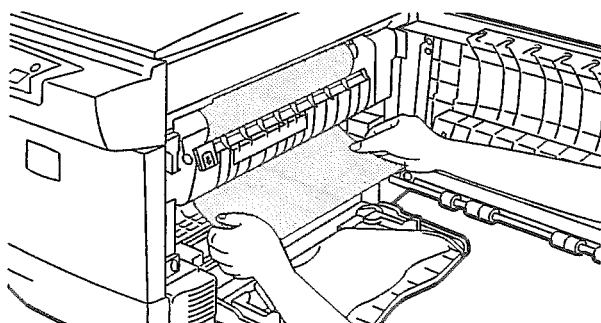
1 図のように給紙部から静かに紙を取り出します。
給紙部からつまった紙が見えていない場合は、給紙トレイを引き出してつまった紙を取り除きます。
紙が取れない場合は、「6.1.2　定着部につまっている場合」へ進んでください。

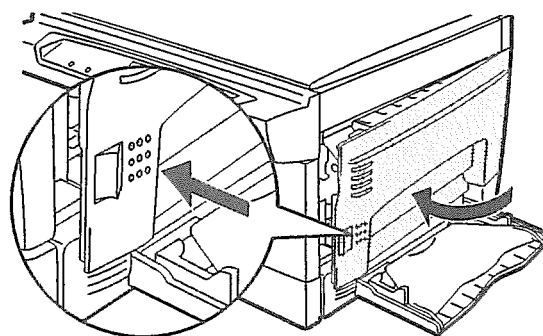
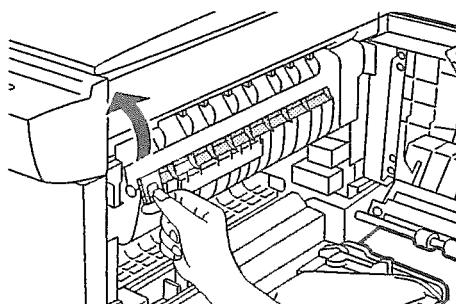
⚠注意　「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（ヒーター部やその周辺）には、絶対に手を触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

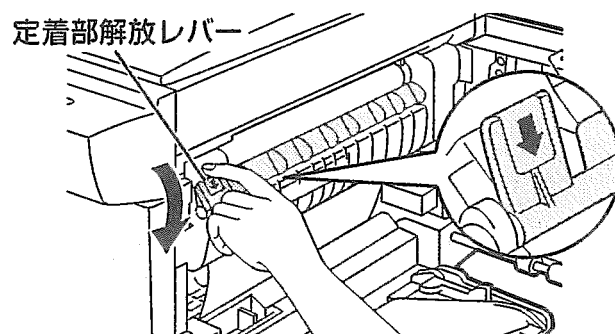
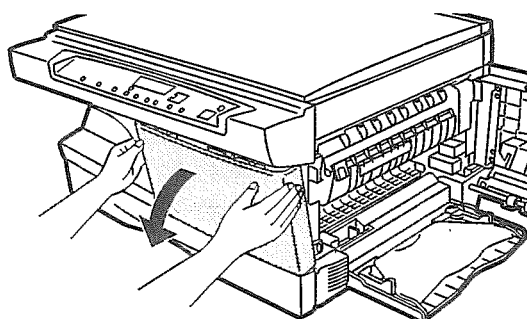
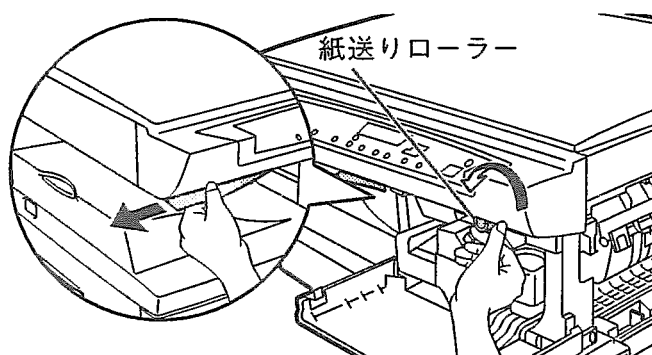
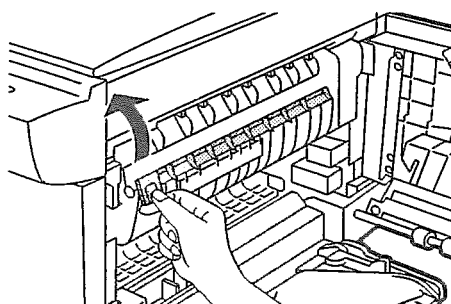
- 紙を取り出すときに、ドラムカートリッジのドラム部（緑色の部分）には触れないでください。ドラム部に傷がつき、コピー汚れの原因となります。
- 手差しトレイから給紙した場合は、手差しトレイ側から紙を取り出さないでください。定着していないトナーで給紙通路が汚れ、コピー汚れの原因となります。

2 右側面カバー開閉ボタン右横の球形突起部を押して右側面カバーを閉じます。紙づまりランプ「8⁄√」の点滅が消え、コピーができる状態になります。

6.1.2 定着部につまっている場合

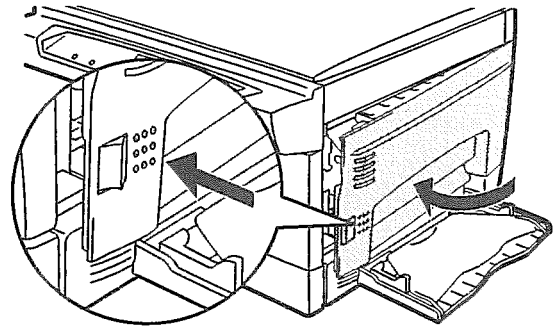
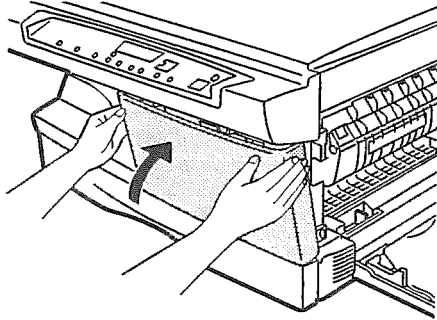
1 定着部解放レバーを、ロックがかかるところまで押し下げます。

2 図のように定着部の下から静かに紙を取り出します。
紙が取れない場合は、「6.1.3 紙送り部につまっている場合」へ進んでください。

⚠注意 「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（ヒーター部やその周辺）には、絶対に手を触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。
なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

- 紙を取り出すときに、ドラムカートリッジのドラム部（緑色の部分）には触れないでください。ドラム部に傷がつき、コピー汚れの原因となります。
- 定着部の上から紙を取り出さないでください。定着していないトナーで給紙通路が汚れ、コピー汚れの原因となります。

3 定着部解放レバーを上げてから、右側面カバー開閉ボタン右横の球形突起部を押して右側面カバーを閉じます。紙づまりランプ「8∿」の点滅が消え、コピーができる状態になります。

6 こまったときには

6.1.3　紙送り部につまっている場合

1　定着部解放レバーを、ロックがかかるところまで押し下げます。

2　両端を軽く押さえながら、フロントカバーを開きます。

3　紙送りローラーを矢印方向に回し、排紙部から静かに紙を引き出します。

4　定着部解放レバーを上げます。

5　両手でフロントカバーを閉じます。次に右側面カバー開閉ボタン右横の球形突起部を押して右側面カバーを閉じます。紙づまりランプ「8⁄」の点滅が消え、コピーができる状態になります。

LOOK　カバーを閉じるときは、必ずフロントカバーを確実に閉じてから、右側面カバーを閉じてください。順番を間違えるとカバーを破損するおそれがあります。

6

こまったときには

6.2　故障かな？と思ったら

故障かな?と思ったら、次の一覧を参照して対処してください。それでも改善されない場合は、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

こんなとき	原　因	処 置 方 法	参照ページ
本機が動かない	電源コードが接続されていない	電源コードを本機の電源コネクターとコンセントに確実に差し込んでください。	12
	電源が入っていない	電源スイッチの「｜」の側を押し、電源を入れてください。	13
	右側面カバーがきちんと閉じられていない	右側面カバーを、カチッと音がするところまで、確実に閉じてください。	－
	フロントカバーがきちんと閉じられていない	フロントカバー→右側面カバーの順で静かに閉じてください。	－
	給紙トレイがきちんと入っていない	給紙トレイを、カチッと音がするところまで確実に入れてください。	－
	トナーカートリッジが交換時期にきている	トナーカートリッジを交換してください。	34
	ドラムカートリッジが交換時期にきている	ドラムカートリッジを交換してください。	36
画像が出ない	原稿がセットされていない	原稿を正しい位置にセットしてください	－
[スタート]ランプが点滅している	パワーセーブモードに入っている	操作パネルのいずれかのキーを押して、解除してください	24
	パワーシャットオフモードに入っている	スタートボタンを押して、解除してください	26
コピーが濃い	原稿の画像が濃い	手動でコピー濃度を調整してください	18
	自動濃度調整機能の濃度レベルが濃すぎる	自動濃度レベルの設定を変更してください	30
	[原稿の画質]で[写真]を選択している	[原稿の画質]で[自動]または[文字]を選択してください	18
コピーが薄い	原稿の画像が薄い	手動でコピー濃度を調整してください	18
	自動濃度調整機能の濃度レベルが薄すぎる	自動濃度レベルの設定を変更してください	30
	[原稿の画質]で[写真]を選択している	[原稿の画質]で[自動]または[文字]を選択してください	18
	[原稿の画質]で[トナー節約]を選択している	[原稿の画質]で[トナー節約]以外を選択してください	18
コピーに汚れが写る	コピーガラスまたは原稿カバーが汚れている	コピーガラスおよび原稿カバーを清掃してください。	39
	原稿が汚れている	きれいな原稿をご使用ください。	－
紙づまりが発生する	給紙トレイで普通紙以外の用紙を使用している	給紙トレイでは普通紙をご使用ください。	53

こんなとき	原　因	処 置 方 法	参照ページ
紙づまりが発生する	用紙がカールしたり湿ったりしている	カールしたり、折れ曲がっている用紙は使用しないでください。長時間使用しない場合は、トレイから用紙を取り出し、湿気を帯びないように袋に入れて、冷暗所に保管してください。	54
	本機内部に紙片が残っている	フロントカバーや右側面カバーを開き、紙片を取り除いてください。	44
	給紙トレイの仕切板が正しくセットされていない	用紙サイズに合わせて正しくセットしてください。	11
	給紙トレイまたは手差しトレイに用紙を入れすぎている	給紙トレイまたは手差しトレイから、入れすぎている用紙を取り出してください。	―
こすると画像部分が消えたり、コピーにしわがよる	規定範囲外のサイズおよび重さの用紙を使用している	規定範囲内の用紙をご使用ください。	53
	用紙が湿気を帯びている	用紙を取り替えてください。 長時間使用しない場合は、トレイから用紙を取り出し、湿気を帯びないように袋に入れて、冷暗所に保管してください。	54

6.3 こんな表示が出たら

操作パネルに次のような表示が出たときは、次の一覧を参照して対処してください。

表示/エラーコード	原因と処置	参照ページ
∴ J1	トナーカートリッジの交換時期が近づくと、トナーカートリッジ交換ランプ「∴」が点灯します。新しいトナーカートリッジを準備してください。 ディスプレイに「J1」が表示され、「∴」が点滅している場合は、交換時期です。トナーカートリッジを交換しないと本機は動きません。直ちに、新しいトナーカートリッジに交換してください。	34
○ J2	ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、ドラムカートリッジ交換ランプ「○」が点灯します。新しいドラムカートリッジを準備してください。 ディスプレイに「J2」が表示され、「○」が点滅している場合は、交換時期です。ドラムカートリッジを交換しないと本機は動きません。直ちに、新しいドラムカートリッジに交換してください。	36
∿ E2	紙づまりが発生すると、紙づまりランプ「∿」が点滅し、ディスプレイに「E2」が表示されます。つまった用紙を取り除いてください。	44
P	給紙トレイまたは手差しトレイの用紙がなくなっています。用紙を補給してください。	11, 20
	給紙トレイまたは手差しトレイで紙づまりが発生しています。つまった用紙を取り除いてください。	44
	給紙トレイが確実に奥まで入っていません。給紙トレイを確実に押し込んでください。	—
C1	フロントカバーまたは右側面カバーが開いています。確実にカバーを閉じてください。	—
CH	トナーカートリッジが入っていません。トナーカートリッジをセットしてください。	9
E7 H2 - H4	内部で異常が発生しています。電源スイッチを切り、しばらくしてからもう一度電源スイッチを入れてください。 同じ症状が出る場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。	58
L1	固定ビスを外さずに電源スイッチを入れると、「L1」が表示されることがあります。電源スイッチを切り、固定ビスを外してから、電源スイッチを入れてください。	7
	固定ビスを外しても同じ症状が出る場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。	58
L2 - L6 U2 - U5	内部で異常が発生しています。電源スイッチを切り、しばらくしてからもう一度電源スイッチを入れてください。 同じ症状が出る場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。	58

付録

用紙、消耗品、本機の仕様、およびアフターサービスについて説明します。

付録A　用紙について

セットできる用紙

本機が正しく作動し、紙づまりなどを発生せずにコピーするためには、本機の仕様に合った用紙を選んでご使用ください。

LOOK

市販されている特殊紙にはさまざまな種類があり、なかには本機で使用できないものもあります。ご使用になる際は、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店へお問い合わせください。

給紙方式	用紙の種類	用紙のサイズ (mm)	坪量※
給紙トレイ	普通紙	A4（210×297） B5（182×257） A5（148×210）	56～80g/m²
手差しトレイ	普通紙/厚紙	A4（210×297） ～A6（105×148）	52～128g/m²
	官製はがき	—	—
	封筒	長形3号（120×235）	
	OHPフィルム	A4（210×297）	
	ラベル用紙	A4（210×297）	

* 坪量とは、1m²あたりの重さのことです。

推奨する用紙

次の用紙をお使いになることをお薦めします。

普通紙	FX L紙
OHPフィルム	XEROX P/N JE-001
ラベル用紙	XEROX P/N V860
封筒	長形3号やまざくらたて型（のりなし）
はがき	官製はがき

セットできない用紙

サイズの異なる用紙を重ねてセットしないでください。また、次のような用紙はセットしないでください。

- 折り目やしわの入った用紙
- バラバラになった用紙を寄せ集めたもの

特殊用紙を使用する場合は、次のようなものは使用しないでください。

わら半紙

- けばだちのひどいもの（コピー汚れの原因となります。）

のし紙

- 表面を金粉で加工してあるものやけばだちのひどいもの（コピー汚れの原因となります。）

はがき

- すでに折り目をつけた往復はがき（折り目がついていなければ使用できます。）
- 絵入りのもの、私製はがき、切手が貼ってあるもの（コピー汚れの原因となります。）

封筒

- 金属タブ、留め金、ひも、穴、窓があいているもの
- 繊維の粗いもの、カーボン紙、和紙、光沢があるもの
- 2つ以上の折り返しがあるもの。折り返しののりしろ部分にテープ、フィルム、紙が貼られているもの。折り返しが折られているもの。折り返しののりしろ部分に水をつけるとのりになるもの。
- ラベルや切手が貼られているもの
- 空気が入り、ふくらんでいるもの
- 接着部分からのりがはみだしているもの

用紙の保管

用紙を保管する際には、次のことに気をつけてください。

- 湿気の少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、紙づまりや画質不良の原因となります。
- 直射日光が当たらず、急激な温度変化のない場所に保管してください。
- 立てかけずに、水平に保管してください。
- 用紙は包装紙に包んで保管してください。

コピー品質をより良く保つために

コピー品質をより良く保つために、次のことに気をつけてください。

項　目	注意事項	対処方法
官製はがきのコピーについて	高温高湿の環境ではがきをコピーすると、トナーが全体に薄く付着することがあります。	品質を特に重視する場合は、空調を効かせた常温常湿*の環境でお使いください。
	コピー後のはがきを重ねてこすると、トナーが付着することがあります。	表面をこすらないでください。
OHPフィルムのコピーについて	低温低湿の環境で黒ベタ部があるイメージをOHPフィルムにコピーすると、黒ベタ部にムラが発生することがあります。	品質を特に重視する場合は、空調を効かせた常温常湿*の環境でお使いください。
	罫線などのあるイメージをOHPフィルムにコピーすると、罫線の印刷が薄くなることがあります。	品質を特に重視する場合は、罫線のあるイメージをOHPフィルムにコピーするのは避けてください。
ラベル用紙のコピーについて	低温低湿の環境で黒ベタ部があるイメージをラベル用紙にコピーすると、黒ベタ部にムラが発生することがあります。また、高温高湿の環境でコピーすると、用紙後端部の印刷が薄くなることがあります。	品質を特に重視する場合は、空調を効かせた常温常湿*の環境でお使いください。
封筒のコピーについて	低温低湿の環境でコピーすると、薄く残像が印刷されることがあります。	品質を特に重視する場合は、空調を効かせた常温常湿*の環境でお使いください。
	コピー後の封筒を重ねてこするとトナーが付着することがあります。	表面をこすらないでください。
	高温高湿の環境で封筒をコピーすると、トナーが全体に薄く付着することがあります。	品質を特に重視する場合は、空調を効かせた常温常湿*の環境でお使いください。
両面コピーについて	本機で両面コピーをすると、画質劣化等の不具合が生じる場合があります。	品質を特に重視する場合には、片面コピーすることをお薦めします。

*常温常湿：温度20℃、湿度65%前後を目安とします。

付録B　消耗品について

次のような消耗品を用意しています。

消耗品は必ず弊社指定のものを使用してください。

品　　名	商品コード	交換時期
トナーカートリッジ	F214	約6,000枚または約4,000枚*
ドラムカートリッジ	F031	約18,000枚

* 6,000枚：A4サイズで黒部分4%をコピーしたときの枚数を基準としています。
4,000枚：A4サイズで黒部分6%をコピーしたときの枚数を基準としています。
本機を購入したときに付属しているトナーカートリッジの交換時期は約2,000枚（A4サイズで黒部分4%をコピーしたときの枚数を基準としたとき）です。

付録C　主な仕様

形式	卓上式
原稿台方式	固定式
感光体種類	OPC
複写方式	レーザー静電方式
解像度	読み込み：400dots/25.4mm (400dpi) 書き込み：600×600dots/25.4mm (600×600dpi)
階調性	256階調
現像方式	乾式現像
定着方式	ヒートローラー
複写原稿	シート物、ブック物　最大原稿サイズ：B4
複写用紙	普通紙、OHPフィルム、ラベル用紙、官製はがき、封筒
複写用紙サイズ	給紙トレイ：A4、B5、A5 手差しトレイ：A4、B5、A5、B6、A6、官製はがき 原稿消し込み量：先端から3mm以下 (等倍時) 先端から2mm以下 (拡大時) 先端から6mm以下 (縮小時)
給紙方式	自動給紙 (1段トレイ250枚) および手差し給紙
給紙容量	給紙トレイ：250枚 (弊社L紙) 手差しトレイ：50枚 (弊社L紙) または官製はがき20枚
複写倍率	等倍：1:1±1% 任意倍率：1:0.50～1:2.00 (1%きざみ) 固定倍率：1:0.50、1:0.70、1:0.81、1:1.00、1:1.15、1:1.41
最大連続複写枚数	100枚
排紙トレイ容量	100枚
ウォームアップタイム	0秒
ファーストコピータイム*	9.6秒　ただし パワーセーブモード状態からのファーストコピータイム：16秒以下 パワーシャットオフモード状態からのファーストコピータイム：23秒以下
連続複写速度	10枚／分 (A4)
電源	AC100V、15A、50Hz/60Hz共用
消費電力	最大：1,000W 待機時：70W パワーセーブモード時：40W パワーシャットオフモード時：18W
大きさ	幅518×奥行451×高さ303mm (突起部含まず)
質量	約18.6kg (トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ含む)
機械占有寸法	幅809.1×奥行451mm
使用環境	温度：10～30℃　湿度：20～85%

※この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
*：ファーストコピータイムの数値は使用環境あるいは電圧状況によって変動することがあります。

付録D　アフターサービスについて

保守・操作のお問い合わせは

この商品の保守や操作については、下記のカストマーサポートセンターにお問い合わせください。

> カストマーサポートセンター
> フリーダイヤル：0120-78-2209

フリーダイヤル受け付け時間：土・日・祝日を除く9時30分〜12時、13〜17時の間に東京でお受けします。ただし、通話地域制限がある内線電話機からはご利用できません。全国通話ができる電話機をご使用ください。また、お問い合わせは日本国内のお客様に限らせていただきます。

補修用性能部品について

弊社は、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低保有期間として7年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

索引

保守・操作のお問い合わせは

この商品の保守・操作についてのお問い合わせは、下記のカストマーサポートセンターへ

フリーダイヤル　0120-78-2209

(フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日を除く9時30分～12時、13～17時、東京でお受けします。
ただし、通話地域制限がある内線電話機からはご利用できません。全国通話ができる電話機をご使用ください。表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。)

富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターへご連絡ください。

フリーダイヤル　0120-27-4100

(フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日を除く9～12時、13～17時、東京でお受けします。
ただし、通話地域制限がある内線電話機からはご利用できません。全国通話ができる電話機をご使用ください。)

Work Centre 100　取扱説明書

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社
ドキュメントエンジニアリング部

発行者 ― 富士ゼロックス株式会社　　発行年月 ― 1999年2月　第1版
〒107-0052　東京都港区赤坂2-17-22
電話　03 (3585) 3211

Printed in China

WorkCentre 100 取扱説明書

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

2版
1999年3月
80P5219
帳票No. DE-0637